(明治四十三年九月十八日 第三種郵便物認可) 大正五年四月二十八日 THE KEIJO NIPPO 第三千一百一號 (一)

京城日報

廿七日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金貳圓八拾錢 一ヶ年金五圓五拾錢(郵送料共前金)
廣告料 ▲五號活字一行金四拾錢 ▲特別欄一行金六拾錢 ▲三號活字一行金八拾錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 田口政太郎
電話 編輯局 三三〇番 營業局 三三六番 振替貯金口座 京城 三二〇〇番

○段氏の總理振り

袁總統に謁見し各總長に訓示

二十五日午前八時段祺瑞氏は新任各總長を伴ひ袁總統に謁見し總統より挨拶ありて退出後段氏は更に各總長を一堂に集め我内閣は當初の約法の規定により施政をなすとて今後の方針を述べ南北安協は諸君の協賛により充分成立の見込ありと云ひ最後に今後の國務會議は他の制肘を受くることなしと述べ正午散會せり各總長は何れも二十六日より出仕し居れり(北京特電)

○廣東の時局解决

陸、岑、梁氏と龍濟光の會見=蔡乃煌遂に銃殺さる

香港來電に依れば廣西都督陸榮廷氏は岑春煊梁啓超氏等と肇慶に到り龍濟光氏と談判の結果左の如く協定成立せり

一、肇慶に廣西都督府を設け岑春煊氏を總統とす
二、陸榮廷氏は廣西護國軍北伐總司令に龍濟光氏は廣東護國北伐軍總司令となり北伐軍出發前龍濟光氏は暫らく廣東都督たるべし
三、蔡乃煌を殺して天下に謝すべし
四、廣東省各地方の治案は岑春煊氏に委任すべく龍濟光氏は兵を出して民軍を攻撃するの舉動あるべからず

之れにて廣東の時局は解決し蔡乃煌氏は二十四日午後五時公衆の面前にて銃殺の處分を受けたり(上海特電)

○愛蘭に暴動蜂起

暴徒は郵便局を占領し軍隊出動

愛蘭事務大臣ビレル氏の發言する處に依ればダブリン市に於て騷擾起り暴動者は郵便局を占領したり然るに軍隊の來著するに及び局面一變秩序恢復することを得たり此の騷擾に於て死者十七名を生じたりと(倫敦電報)

▲愛蘭事務大臣ビレル氏の發言する處に依ればダブリン市との通信困難となれり且つ兵士四五名暴徒の爲に斃れたりと(倫敦電報)

○支那大勢略決す

新内閣樹立と共に支那各省の態度鮮明し大勢略定まれり唯南方四省のみは飽く迄排袁の貫徹を期するも其成功は疑問なりと一般に觀測せらるゝに至れり(東京電報)

○三線運賃問題

日鮮滿三線連絡會議に於て鮮滿兩鐵道の懸案たりし棉絲布運賃問題は鮮鐵側に於て多少の讓歩をなし今後六箇月間現在の制度を有効とし六箇月後より運賃を距離に比例して徴收する事に協定調印濟となれりと云ふ(東京電報)

○海軍檢閲使來去

海軍特命檢閲使伊集院大將一行二十餘名は二十七日午後軍艦滿洲にて鎭島より旅順著二十九日迄に檢閲を了し三十日發鎭海灣に向ふ筈也(大連特電)

○本郷中將通過

本郷中將は師團長會議より歸任の途新羅丸にて二十七日午前釜山著同十時半出發京城に向ふ(釜山特電)

○矢島部長出發

矢島軍務部長は二十七日午前五時四十分釜山著鴨戸にて休憩午後八時新羅丸にて東上の途に就けり(釜山特電)

○原政友總裁一行

九州遊説中なりし原政友會總裁一行は二十六日夜安川邸に一泊二十七日朝八幡製鐵所を視察の上小倉の演説會に臨み午後七時十分下關發列車にて大阪に赴く(門司特電)

○志村總裁視察

志村勸銀總裁は二十六日經濟調査の爲群山より全州に來り二十七日木浦に向け出發せり(全州特電)

○歸還兵の出發

二十六日釜山より到著せる部隊二百七十三名馬匹六十九其の他は二十七日朝九時還北丸にて出發せり(元山特電)

○地方費總豫算

前年度との比較

大正五年度地方費豫算は歳入歳出共總計三百二萬二千百八十二圓にして之れを前年度の總額二百六十六萬七千七百六十四圓に比すれば三十五萬四千四百十八圓の増加を見たり這は歳入に於ては諸賦課金の自然増收外、時局に伴ふ牛皮需用の結果牛の屠殺數激増せる爲め約九萬圓の屠場稅を増加せるのみならず繰越金に於て約十萬餘圓、國庫補助に於て約六萬二千餘圓、其他の雜收入に於て約七萬八千餘圓の何れも増加を見たるに因るものにして本豫算總額を道別に示せば左の如し

道別	歳出入豫算額(圓)
京畿道	二九〇、三二八
忠清北道	一四一、二四〇
忠清南道	二二一、七九九
全羅北道	三三二、四三七
全羅南道	二三〇、三三一
慶尚北道	二八五、七九六
慶尚南道	二八三、一一三
黃海道	二三七、二二九
平安南道	三三二、一三二
平安北道	二二五、九八九
江原道	一四九、四二六
咸鏡南道	一五八、一八一
咸鏡北道	一四四、二八一
總計	三〇二二、一八二

而して歳出中主なるものを前年と對比すれば土木費は百二萬五千七十七圓にして二十六萬三千七百九十九圓を増せるは從來勸業費中に屬せし水利灌漑事業費が本年度より土木費中に編入せられたると、一二等道路の修繕は今迄國費を以て支辨し來りたるも本年度以降は國庫補助の下に

○聯絡委員入京期

日、支、露鐵道聯絡運輸會議委員は二十九日朝東京發、鐵道院鐵道局共臨時列車にて五月一日午前六時五十分南大門驛著入京の旨其筋に電報ありたり

○支那委員入京

支那鐵道委員奉天鐵道事務總長ゼ、イ、フォーレー氏一行は廿七日夜南大門驛著入京す可し

○阪谷男入京期

阪谷芳郎男は五月一日東京出發三日午前八時五十分南大門驛着汽車にて入京一泊の上出發す可き旨其筋に電報ありたり

○笠置南浦入港

練習艦笠置は二十六日午前十一時大連より鎭南浦に入港せり候補生一同は平壤鑛業所其他を見學し三十日仁川に向け解纜す可し

○志村勸銀總裁

勸業銀行總裁志村源太郎氏は佐伯調査課長、柿内書記を隨へ二十八日午後九時南大門驛著入京に決せり

○總督邸晩餐會

前駐日露國大使マレウキッチ氏一行は歸國の途五月三日朝南大門驛著入京す可く寺内總督は同夜氏を官邸に招き晩餐會を催す筈なり

○聯絡會議委員

五月一日より京城に於て開催さるゝ日、支、露鐵道聯絡會議の出席者委員氏名左の如し

鐵道院
監督局長 大園榮三郎
運輸局長 木下淑夫
同旅客主任 三上眞吾
鐵道院參事 同監督局參事 青木治郎

朝鮮鐵道局
長官工學博士 大屋權平
總務課長伯爵 兒玉秀雄
營業課長 三本武重
參事 安藤又三郎
同 和田駿

南滿洲鐵道

支那國有鐵道
運輸部營業課國際係主任 庄司鐘五郎
京奉鐵道事務總長 ゼ、イ、フォーレー
同總務所總管 周
同事務副總管 善同
書記 Hau. Chih.

東清鐵道
本社監督 ルゲウキッチ
會議次長 ソーボレフ
哈爾賓支社審查部長 ワインストック
書記 マツヲキン
支社通譯 フイリボウキ
同タイピスト ツチ

尙ほ接待員として朝鮮鐵道出席委員の外加藤經理課長も出席す可し

○議定書調印

廿八日頃ならん

東京にて開催せし日滿連絡運輸會議は廿六日を以て終了せしに依り直に議定書製作に取掛りしも大部なると且つ愼重を要する處ありて調印は廿八日頃なるべく而して委員一同は廿九日東京出發入鮮の筈なり

○朝郵店長會議

朝鮮郵船會社にては釜山支店長元山出張所長木浦仁川各出張員を召集し二十七日より三日間本社會議室にて地方店長會議を開會中なるが第一日は本店よりの指示及び諮問第二日は地方店長よりの希望事項第三日は事務打合せにて本社よりは原田社長吉田專務河田文書外各課長列席したり

○長箭寄港增加

元山より金剛山探勝客の上陸すべき長箭に寄港する朝鮮郵船會社汽船は從來釜山雄基間就航船のみなりしが新線の開通に入り探勝者少なからざる模様なるを以て五月一日より釜山元山間就航船も長箭に寄港せしむる事とし從來一月八回の元山發は十二回に增加さるゝ由

○小松原氏入京期

東洋協會長小松原英太郎氏は四月三十日若くは五月一日臺灣より入京す可く東洋協會にては一日午後七時より朝鮮ホテルにて歡迎晩餐會を開催の筈

○島田課長渡臺

臺灣遞信事業視察の爲め渡臺すべき遞信局監理課長島田志良氏は二十八日午前八時三十分南大門驛發二十九日出帆の笠戸丸に便乘する由なるが其の歸任は五月下旬ならんと

○奉授式ご打合會

既報の如く五月一日は龍山新設第十九師團の第七十八聯隊に於て軍旗捧授式を行ふにつき龍山市民は其祝賀の準備として二十七日午前十時より京城府龍山出張所に於て町内有志の者會合し打合會を開催したり

○元山駐屯隊著

元山現守備隊と交代し新たに駐屯すべき歩兵第七十四聯隊第一大隊將校二十六名下士卒四百五十八名は二十五日午後三時三十分第三琴平丸にて著港同四時運輸部棧橋より上陸せり其の他官民小學生徒等の歡迎頗る盛んなりき而して該部隊は直ちに市中に分宿したるが來月五日現守備隊の出發歸還するを俟ちて守備隊營舍に入る筈なり

○春季招魂祭

京城府の主催にかゝる春季招魂祭は來る三十日午前十一時より倭城臺公園に於て執行することゝなりたり當日は例に依り寺内總督、井口軍司令官、立花師團長、古海總長、各部長官、局長、松永京畿道長官を初め團體側には赤十字社、愛國婦人會員遺族、在郷軍人、官公私立各學校代表者の參拜ある筈なるが尙ほ當日は市民一般の參拜を希望する由にて市民は成る可く國旗を掲揚されたしと

○朝郵檢査終了

伊藤遞信局事務官補等は朝鮮郵船會社に出張し檢査中なりし朝鮮郵船の決算並に事務監査は二十六日終了を告げたりと

○海事審判

二十六日朝鮮海事審判所にて朝郵鎭江丸船長大島傳三に對する職務怠慢事件の審判を開きしが向ふ一箇月間船長職務執行の停止をなす旨判決あり

○木曜會例會

木曜會の例會は四月二十七日午後六時より京城ホテルに於て開會勝山印刷所技師の『米國視察談』あるべし

○實業夜學校卒業式

公立京城日出小學校内に附設したる實業補習夜學校は其所定の授業を修りたれば二十八日午後八時より卒業式を舉行し且つ同日を以て解散し別に京城公立簡易實業專修學校を新設し新に英の兩語科をも設くるに至りたり昨今其入學志望者頗る多數に上り居れりと

○日出校職員觀櫻會

京城日出公立小學校職員の家族一同約八十名は來る三十日の日曜日を期し加五里にて觀櫻會を催す筈にて目下其準備中なり

○三浦中尉著任

平壤憲兵隊副官より司令部附に榮轉せし三浦中尉は二十六日午後七時半著任せり

平壤

▲步兵聯隊來著期 步兵第七十七聯隊本部及び同第一大隊は五月六日午後零時二十二分に同隊第三大隊は同五日午後零時二分平壤驛に到著すべし當日平壤官民の歡迎盛なるべし

▲學校組合國庫補助 平壤及び鎭南浦の兩學校組合は組合費として平壤に金一萬四千六十八圓鎭南浦に金一萬二百圓の國庫補助は其の筋に稟請したる處本月十四日付を以て平壤學校組合へ金八千七百七十一圓鎭南浦學校組合へ金六千二百六十四圓の補助指令ありたり

▲道長官の出張 工藤平南道長官は二十五日午前九時出張參與官を隨へ大同郡に出張事務視察を爲せり

▲女學校教諭の任命 東京女子高等師範學校卒業生大村峰は今回平壤高等女學校教諭に任命せられたり

▲平南教育會 平安南道教育會は五月三日午後四時より平壤女學校に於て第五回總集會を開催し會務の報告會長副會長評議員の選舉を爲し終つて左記二氏の講演ある可し

歐洲戰爭の所感 平安南道第二部長 吉松憲郎
朝鮮教育の前途 平壤中學校長 赤木萬二郎

▲兩氏送別會 平壤覆審法院判事原三雄氏は今回海州地方法院部長判事に平壤憲兵隊副官三浦中尉は憲兵隊司令部に榮轉せしを以て兩氏の爲め二十五日午後七時より大同館にて官民有志の送別會を開きたり

清州

▲忠北の陸地棉 忠北道に於ける陸地棉は沃川永同兩郡に於て兩三年來獎勵しつゝあるが棉栽培は在來棉に比し收穫多量なるより作付希望者非常に多く逐年急激の增加を見つゝありて本年度の兩郡作付は希望反別實に一千三百町歩に上りたるも道より配付する種子は十五萬斤に止まりて約一千町歩の作付をなすに過ぎざる由なるが之を昨年の作付反別四百五十町歩に比較すれば二倍以上の增加なりと

▲謠曲素謠會 廿二日午後七時より清州讀書倶樂部にて同好者の謠曲素謠會あり

▲櫻井警務部長 警務部長會議列席のため出京中なりし櫻井忠北警務部長は二十二日午後零時五十分自動車にて歸任したり

▲第二部長歸任 佐々木忠北第二部長は二十四日忠州より歸任したり

▲女屋書記赴任 忠北道稅務主任より永同郡に轉じたる女屋書記は二十四日後任近藤書記に事務引繼を了し二十五日午前十時赴任の途に就きたり

▲齋藤警察署長 海州警察署長は母堂病氣のため暫く歸省中なりしが廿三日夕歸任

元山

▲村地府尹歸任 事務打合せの爲め咸興に出張中の村地府尹は二十四日歸任せり

▲矢鍋稅關長上京 元山矢鍋稅關長は過般燒失したる清津稅關支署再築に關する件に就き二十五日上京せり

▲防備隊引揚期 永興灣防備隊は鎭海要港部よりは二十六日京畿丸にて職工二十餘名來著大新島其他設備機械取外しに著手する筈なるが同隊全部は來月一日入港の高崎丸にて八日出發の豫定なり而して引揚後の防備隊跡には永興需品支庫を設置さるゝ事とてこれが主任としては佐分利森氏著任の筈

天安

▲天安郵便局統計 天安邑内は年々發展するに隨ひ通信事務も自然繁忙に向ひつゝあり現に大正四年度と三年度を對照せば左記の如し

通常郵便二十九萬二千五百六十三通前年度二十七萬九千六百九十五通小包四千三百四十二個前年度四千三百十二個貯金受拂十五萬五千八百七十二圓前年度十一萬七千百九十四圓貯金預六萬二百五十三圓前年度六萬七千五百七十二圓拂出本年七萬千三百六十圓前年度五萬七千三百六十四圓前年度四萬七[illegible]一通前年度[illegible]

然して右貯金受拂に於て預り金が前年度に比し本年度は七千三百十九圓少なく又拂出に於て前年度より本年度が一萬四千六十一圓多きは是れ金融逼迫と不景氣に基因するものなりと

▲祭典延期 天安南山公園の大神宮祭典は二十五日舉行する筈なりしが適々降雨歇まざりし爲め其祭典執行を延期し晴天を待ちて爲すことゝなせりと

沙里院

▲沙里院校長 沙里院公立普通學校長小杉平一郎氏は今回鳳山郡公立普通學校長として轉任に付地官民一同は同氏の勤勞に酬ゆる爲め記念品を贈呈せり因に同氏は四月二十六日當地出發赴任せり又た元載寧郡公立普通學校長堀總太郎氏は今回沙里院公立普通學校長として四月二十五日來著せり

▲鳳山郡御大典記念事業 同郡鮮人御大典記念事業として殖産組合の組織を計畫しつゝあることは既報の如し今回愈々成立せしを以て其内容を聞くに資本金は一萬圓二百株一株五十圓とす而して事業の目的は農事、農具肥料の改良植林、灌漑事業の獎勵等重なるものなりと

人事消息

▲石塚準市氏(朝郵釜山支店長) 二十七日午前入京山本旅館へ
▲瀬山木材課長(三井物産社員) 二十七日午前入京山本旅館へ
▲有馬警官(朝鮮總督府醫院醫官) 二十七日午前七時十分南大門驛發英國へ向け出發
▲藤原曾根氏(步兵七十九聯隊步兵中尉) 二十七日午前入京巴城館へ
▲天本良三氏(同聯隊中尉) 同上
▲西山茂氏(同聯隊少尉) 同上
▲松永武吉氏(京畿道長官) 廿七日午前永登浦へ
▲米國觀光團一行八名 入京中の所二十七日午後奉天へ
▲阿部藤氏(鮮銀安東縣支店長) 廿六日夜入京
▲ブルトナペスキー氏(東清鐵道庶務課長) 廿七日朝南大門通過長春へ
▲武宗釜山運輸支部長 入京中の處廿七日朝館出發歸釜

▲廣告▼

法人登記公告 晋州支廳 [illegible]

公告 [illegible]

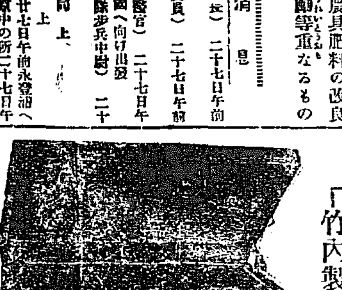
法人登記公告 載寧支廳 [illegible]

法人登記公告 原州支廳 [illegible]

商業登記公告 [illegible]

京城地方法院 大正五年四月貳拾五日登記 [illegible]

製材機械原動機 其他一切 切付丸鋸其他 賣買貸 割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會



輕便!! 堅牢!!! 優美!! 廉價!!!
何れの點に於ても卓越せる「竹内製手提金庫」
朝鮮特約店 京城本町二丁目 熊平支店 電話六二四番 振替京城二三二番

●花、花、花、

咲いた〳〵四十餘種の櫻

加五里から牛耳洞へ

櫻の名所加五里の花は昨今いよ〳〵綻び初めた、山秀で水清き加五里の春は京城よりは稍な遅れて居るけれどもあの附近一帶の山麓はもう

▲薄桃色の花霞

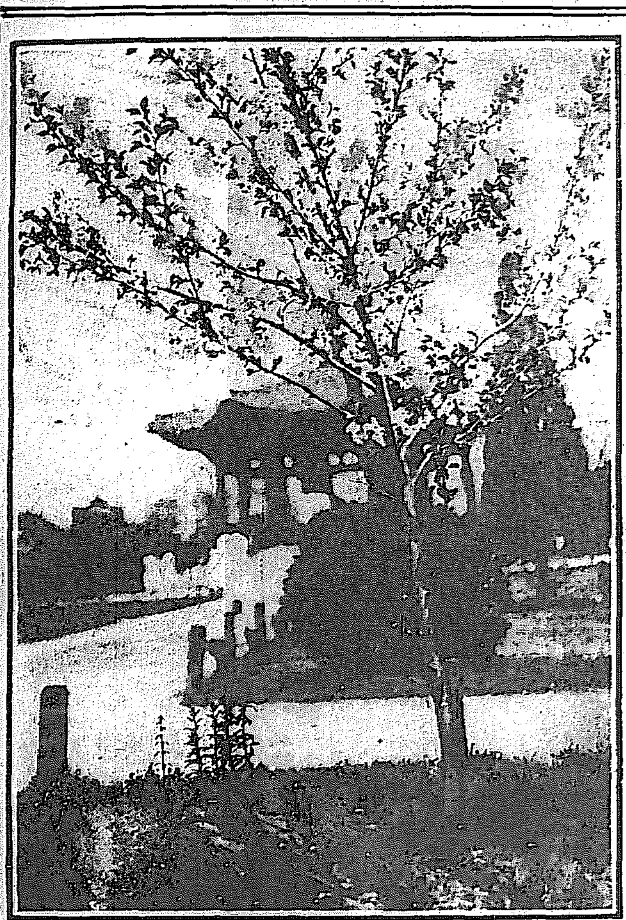
それに小鳥がなく、胡蝶が舞ふ、陽炎が燃ゆる、昨今北漢山麓の春は將に闌たらんとして居る、由來加五里は山と水と花と草野とで飛んだ眺へ向きの遊覽地、蒲公英や菫花の咲き匂ふ河邊に飲宴を開くも面白からう、加五里は牛耳洞より牛里ばかり京城に近く、俥で東小門から往く人も汽車で京元線蒼洞驛に下車する人も一度は是非此の勝地を訪れるを忘れてはならぬ、春風秋雨五百年、ありし昔しを語り顔の櫻の所には古色蒼然たる識遺跡がある、鷄の聲、蜂のうなりの長閑けき日永にはまた山の手の林に鶯が鳴く、静心なく花の散る下、ホーホケキヨ〳〵の鶯の聲は什麼に花見客の心を喜ばせるで有う!!加五里の櫻は牛耳洞より古い、中には

▲三百年以上を

經た盆栽のやうな幹もある、それに牛耳洞が酒や天幕でさんざめく中に加五里の花は世捨人の如く静に〳〵咲いて居る、加五里の櫻は去る四十二年場主稲垣氏が此地を開拓してからは前後八年の間あまり世の中に識られて居ない、最初此の隠れた名所を訪れた人は四十三年の彌生半ば警務總監部の花見團が一番で、其の後漸く一般に知られたのは去年本紙で紹介してからの事であらう、加五里!!加五里!!此の温和しい田舎娘のやうな加五里の櫻は今年も相變らず白粉氣なしに笑顔を見せるであらう、優しい温和しい加五里の櫻を毎年京城女學校の生徒が訪れるのも蓋し理由ある事である、また加五里を見た人は牛耳洞を忘れてはならぬ、此の兩地は殆んど

▲北漢山白雲臺

の峯つヽき藥水の溢るヽ山の端を南北にして何れも皆美しい花の名所である、牛耳洞にも涼々たる溪流のささやきがある、昨今紅白の櫻羅や綵旗閃ろ天幕の間にはもう麥酒やサイダを侑める茶店が二三十軒も立ち並んだ、蒼洞驛から往けば約牛里、牛耳洞、加五里の櫻はいよ〳〵これからである、兎に角世間に櫻の名所は尠なくないが、加五里と牛耳洞の櫻ほど左樣に背景の美しい所はまたとあるまい、それに歴史上の回顧もあれば四十種に餘る變種の研究も面白からう、若し夫れ一歩城外東小門に踏み出したならば陽炎にかすむ行手の右左、櫻、桃、杏、梨の花など殆んど應接に暇なき程の春景色である


パゴダ公園の櫻花

●二萬圓損害請求の判決

被告ロンドン氏の勝訴

佛國人エル、ルバルス氏がルイ、ロンドン氏に對し請求したる損害賠償金二萬圓に關する訴訟事件は其後京城地方法院田中裁判長より懇切なる和解の勸告ありたるもロンドン氏代理人辯護士三浦顯藏氏はロンドン氏が仲裁判定に付したる收支計算書類は總て總督府に提出したるものと同一なるが故に若しルバルス氏の言の如くばロンドン氏は總督府を欺きたるに等しきものなりとて同勸告を斥け飽迄黒白を爭ふ事に決し且つ證人として同國人メーグル氏の召喚を申請し原告ルバルス氏代理人は突然一部の權利を抛棄したる爲め二十五日途にロンドン氏の勝訴となりたり

●首相狙撃事件豫審決定

大隈首相狙撃事件の豫審終結し二十六日其の調書發表せられたり猶該事件は來る二十八日其第一回開廷の筈なりしも江木花井の各辯護士より調書閲覧の時日なしとの理由を以て五月二十二日開廷に決せり(東京特電)

●總裁の名を濫用する惡漢

官印を盗用す

東京に本部を有する大日本皇道會出張員柳瀬太郎といふは東京及び京都の皇城内裏を描寫したる三幅の軸物を敎育資料の名義を用ひ代價二十圓にて目下京城各所に賣捌き中なるが同人は總裁土方伯の名を濫用して紹介状を拵へ居り之を携へて各官廳を訪問し兩三日前さる官廳にて購求の申込みもなきに自分勝手にて携帶の豫約申込帳に部數を記入したる上さる高官の隙を窺ひ有合せたる官印を盗んで押捺し其れを携へて各官衙を訪問しゐたること發見し目下本町署に於て取調べを受けつヽあり

御存知ですか? 加五里の花を!

牛耳洞に加五里
加五里に牛耳洞

孰れ劣らぬ櫻の名所を探ろのは正さに是れからです。

牛耳洞の櫻は、先年我社が天下に紹介して今は立派な名物になりました。

然るに!!然るに!!

牛耳洞と僅か山一つ距てヽ、それに優つても劣らぬ花の里があるとは、餘り知られて居ないやうです。

それは 加五里 です。

その加五里の櫻を、再び我社は天下に紹介して、牛耳洞と並んで花の名所としたいと云ふ考へから

加五里觀櫻の道案内をいたします。

南を受けた加五里の花は、此の卅日の日曜が最も見頃です、苟くも今年牛耳洞に花を見る人は、加五里の花に背く譯には行きません。

加五里への道は單純です牛耳洞行の花見列車で蒼洞驛で降りれば、加五里を見て悠くり牛耳洞に行けます。

花の双璧。二大仙境。

三十日は花見デー

是非加五里の櫻を牛耳洞と併せて御覧なさい

●御大禮活動寫眞の前景氣

學生團隊拜觀

御大禮活動寫眞巡業は會場の都合にて豫定の日程を變更し大田にては二十八日夜一回二十九日は晝夜一回宛天滿座に於て開會する事に決定せり大田は三十日全市を擧げ盛大なる軍旗祭を擧行する事とて大田支局主催御大禮拜觀寫眞は非常なる歡迎を受け學生五百名團隊を初め前景氣盛なり次回は全州にして三十日夜一回一日は晝夜二回開會する事に確定したり(大田特電)

●剃刀で咽喉突く

京城茶屋町商應祥方にて二十七日午前一時頃同人の甥にて同家止宿中たる平壌府岩里の高聖德(二六)は同家涓突内にて鋭利なる剃刀を以て前頸部に長さ二寸程斬りつけたるも頸動脈に達せざる爲め少量の出血ありたるのみにて絶命するに至らず苦悶し居るを家人が發見し騒ぎ出でたるより本町署より警官醫師出張檢視の上手當を施し居るが同人は目下重症の肺結核に罹り居るを以て多分其れを苦にして此の仕末を企てしものならんと

●籾五百餘俵を海中に葬る

仁川花房町三丁目福田鶴吉(四一)は所有團平船第三天神丸(廿四噸九)に船夫と共に乘組み四月廿二日龍山を出帆し金浦郡霞城面新流里奉城山東麓に差蒐りたるに同所は潮流渦卷く危險なる箇所とて之を避けんと船體操縱中船尾を岩角に衝突したる爲め龜裂を生じて忽ち浸水するに至りたるより乘組員は辛うじて上陸し得たるも積荷なる籾五百三十七俵(一千八百七十九圓五十錢)は遂に流失し附近の者の助勢に依り船體のみは引揚げたりと

●電車に飛乘て大暴れ

二十六日正午頃京城電氣會社の百八號電車が南大門方面に向ふ途中鍾路四丁目停留場にて車掌が拒絶するをも肯せず飛び乘つた泥醉者あり乘客を蹴り散らし車掌に喧嘩を挑み硝子窓を破壊するなど亂暴を働き手に負へざるより最寄なる鍾路署の交番に訴へ出で警官が出張して制止せんとしたるに此度は警官に喰つて蒐り暴行を加へたるより辛くも取押へ本署に引致して取調べたるに此者は大阪市南區難波稲荷町一丁目生れ當時龍山元町一丁目大西方の店員中岡米太郎(三五)と判明し鍾路署にて拘留處分となりたり

●朝鮮古墳壁畫集

朝鮮は山野の荒廢せるにも拘らず往時の雄大奇拔なる彩畫を古墳の石室中に收藏して今尚燦然たるものあり其中には俑唐代の作を突ふるものありと雖も其珍重すべき點に於ては依然たり關野工學博士の調査したるものヽ王家博物館末松主管の研鑽したるものとを按排して李王家用に印刷したるが特に二百部を限り江湖同好の士に頒つ事と爲りしが朝鮮麻布の滿洒たる帙入としたる縱一尺四寸横一尺の大冊にて和英文の解說を附し三色版(廿四枚)コロタイプ版(一十三版)總て四十七枚にして之を特に實費六圓を以て需に應ずべしと尚數十部の殘部ありとの事なるが增版を爲さず更に近々第二集印刷の計畫ある由にて珍品と稱すべし

●流行夏帽子

大抵の日用品は歐洲戰爭の影響を受けて値段が高くなつたり品が少くなつたりしてゐるが、この夏帽子ばかりは、洗麗パナマを除く外は悪く品も有り値段も昨年と變りがない

一般にいくらか高くなつたが、麥稈やリボンの類には取立てヽ云ふ程の變化はない、單に昨年の形をその儘繰返してゐるに過ぎない、然し流行としては引續いてパナマを凌ぎ、殆んど

◇麥稈帽 八分通りまでは堅い麥稈が夏帽の領分を占めてゐると云つても宜い位になつた、この中で『柔』一等の七十錢位、ダスカン式小麥稈形單一文字形は紳士向きで二圓六十錢位、一文字形は一圓七十錢位である、一般に學生向きとしては『伊太利亞麥キンケアフト』一圓八十錢位『伊太利亞平編二重一文字麥稈』一圓四十錢位がある

◇パナマ 英國からの入荷がない爲め舶來品は全然ないが今では和製品でも隨分立派なものが出來るやうになつた

しかしこれは總じて壯老年向きで若い人には餘り歡迎されないと云ふのはパナマを冠ることになると可なり改まつて往來ふのと手輕に買ひ代えるのが面倒だからだらうと思はれる。新形のもので三圓八十錢から六七圓位まで素人眼には鉛と貝分けのつかない粗劣な物もある

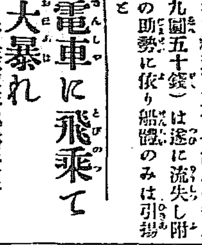
◇鳥打帽 この類には頗分色々あるが、矢張り昨年より引續いて流い鍔が流行して居る、形は大きくセルや麻等よりも舶來の縞紗物が多い、縫付なしは少し下火になつて八つ縫ひが復活して來たやうである。

●本郷中將通過

本郷中將は二十七日午後九時南大門驛通過遼陽に歸任すべし

●愛婦役員登山會

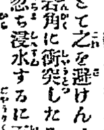
愛國婦人會朝鮮本部役員夫人有志二十餘名は二十八日朝白岳山に登り一日の清遊を試む可しと



髪を黒く長くつやを出しさらさらとして髪のぬけを防ぐ…

●中谷醫院の開業

熊本醫學士中谷益雄氏は熊本縣立病院に於て實地研究の上大正三年渡鮮後は總督府醫院村上病院、京畿道警務部囑託等を經て今回京城大和町三丁目に開業一般の診療に從事すと



京城も愈々櫻の滿開となつた倭城臺、獎忠壇公園、パゴダ公園を初めとして明月館横の路傍公園など此數年來植ゑた大和櫻が盛んに花を附けて居るのは愉快だ▲加五里牛耳洞の櫻は何れも日本から來たとか濟州島から來たとかの說もある樣だが移植後土質や氣候の關係で永い歳月の間に變種して專門家が見ると數十種に分たれるといふ事だ▲京城の櫻が昨今滿開であるのに加五里牛耳洞が三十日頃から愈々見頃になるといふのは地勢の關係もあらうが主として此變種に因るものらしい

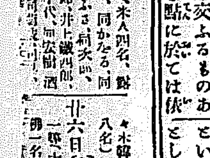
●官名を詐稱す

江原道橫城郡公根面下三倍里生れ住所不定の詐欺横領前科一犯李基觀[illegible]は昨年[illegible]し謝禮金を受け居る由探知したるより内査の爲め來れるが該許可の手續[illegible]きなし與ふべきに依り金三十八錢を[illegible]不服とし京城覆審法院に控訴したるが前判決を取消し懲役六箇月の處分となりたり

内一洞の富豪孫庚鉉に宛て隊長李根湖副長閔致泳名義にて大正五年一月二日正午を期し金五千圓を京城東大[illegible]慶北金泉の大富豪にも脅迫狀を郵送したる爲め京城地方法院にて無期懲[illegible]より刑を受け同覆審法院に控訴し

[illegible]よ、時永淵三、同牛子、向井太郎、米人四名、鮮人四名、二等(六十五名)別宮元、同かなる、同慶子、佐伯聰吉、山根佐賀藏、同ふさ、荊次郎、片山あい、評弘正興、別川今太郎、井上識四郎、同あき、今川とら、林てる、同千代、阿安樹、酒井新一、三井よし[illegible]木幹一、結城國松、非副由助、三等(二百七十八名)

廿六日午後入港の對馬丸 一、二等客 一等十名宮崎彌一郎、[illegible]


天氣 晴一時曇 四月廿八日 [illegible]

演藝案内

御成町 電話一九一 御成座
廿五回目發題 黒法師氏作 想夫樺 全八場
岩崎一彦(花房)…小泉…(小泉)…子(米田)…女中お玉(中村)
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館
四月二十二日より春季大特別興行 實寫歐洲戰亂エクレア週報 ○悲劇 泰西軍事活悲劇 愛國の血 全四卷
●大活劇 侠客金看板 甚九郎 全三卷
●舊劇 赤垣源藏 德利別れ(見島旭引彈發)

本町 電話五七八 壽座
改正義團一行
喜劇 濱千鳥 …

明治町 電話二六〇番 浪花館
大阪女義太夫 合同大一座
○七日目(廿七日)語物 △御祝儀 △三十三間堂 △三段目 △忠臣藏八ツ目 …
每日晴雨不論午正六時開演仕可候

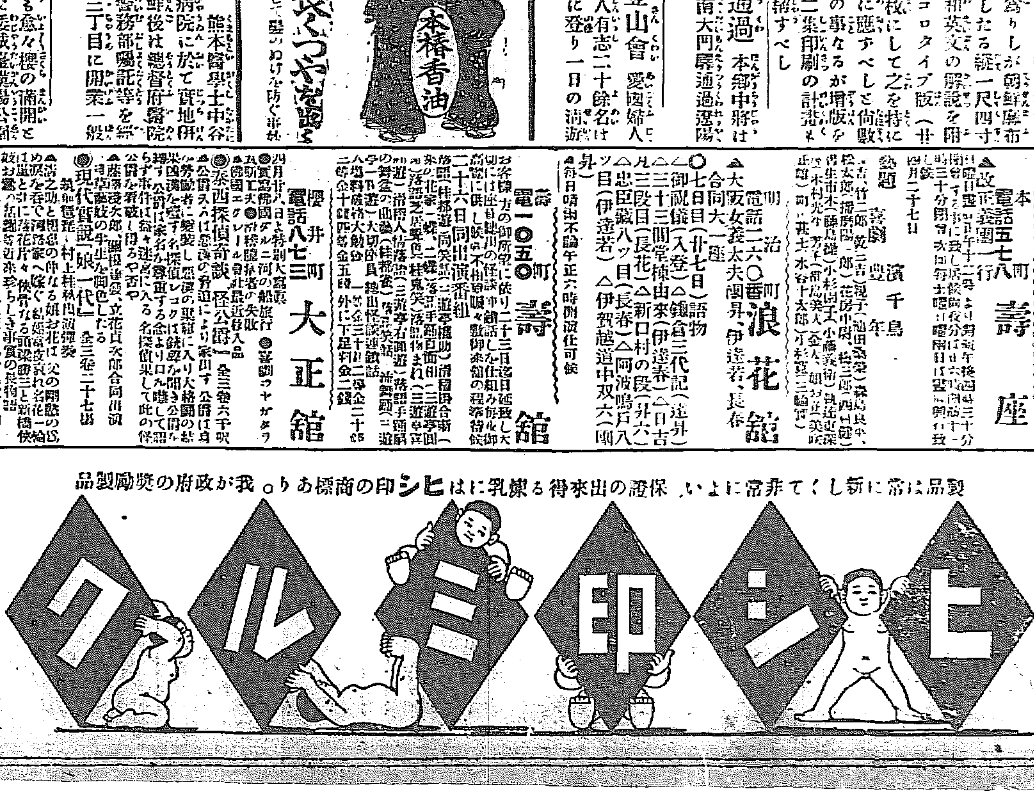
壽町 電話一〇五〇 壽館
お客様方の御所望に依り二十三日迄日延致し…

櫻井町 電話八七三 大正館
四月廿八日より特別大寫眞 …
●泰西探偵奇談 怪公爵 全三卷 …
●現代寶說 娘一代 全三卷
…

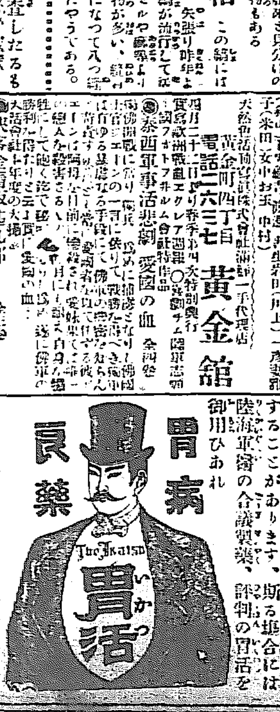
寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 京城日報社 寫眞製版部

內科 小兒科 胃腸病 京城大和町三丁目(不老泉裏川端) 中谷醫院 熊本醫學士 中谷益雄 電話一〇三番

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏



花見と胃
花を見て樂しく御馳走を召し食ればありますが、胃の消化を良くするのは神經的作用は、二日醉、食ひ過ぎ、飲み過ぎ等にて胃腸を害する事があります、斯る場合には陸海軍醫の合議製藥、評判の胃活を御用ひあれ



定價 … 本舖 東京日本橋本銀町 山田安民 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

□廣梁灣の鹽田から

□料理屋は悉く自滅□
□鹽田協會が出來た□

廣梁灣が理想的の樂土だと云ふ事は前にも一寸述べた併しいくら廣梁灣だと云つても生れた儘で今日の如うな住心地の好い樂土に成つたわけではない之れには種々な考慮を要したわけである

▼第一苦心したのは

▽料理屋の驅逐で

あるいくら樂しい暮しを爲たいと思つても料理屋などが盛んで藝妓やら淫賣婦やらが一杯に居つて何にかと云へば料理屋で宴會を始める事主は妙な女に惚ろけ込むんで月給だけでは支拂が足らないと云ふ樣な調子では如何に天然の地形が好くても自然の風景が佳絶でもとても樂天地にはならぬ然うかと云つて營業者に向つて立退きを命じたり營業の手加減を勸告するわけには行かぬから此れを驅逐するにはどうしても皆なが遊ばない樣にして先きの商賣が立ち行かない樣に爲なければならぬ、そこで當田所長はお互同士宴會を出來るだけ避ける一方所員に妻帶を勸めた結果最初は

▼獨身者八分の鹽山が今では

▽妻帶者八分五厘

と云ふ風であるその上宴會が殆どないから三名の藝者と七八名の酌婦連の立つ瀬は無くなつた遂に四軒あつた料理屋は四軒ながら家も道具も抛棄らかした儘夜逃げの樣に廣梁灣を逃げ出した儘それからと云ふもの料理屋臭い者は一人も寄付て來なくなつたこれで料理屋驅逐は濟んだが從來放埒を極めて居つた鹽田では官吏も鹽夫もみんな相當の借財が有つて苦しんで居つたので役所では一時金を貸與して一切の借錢を支拂した上に鹽田區域内の雜貨商には製鹽所で保證を與へて

▼製鹽所員の購買した代金一切は

▽製鹽所で責任を

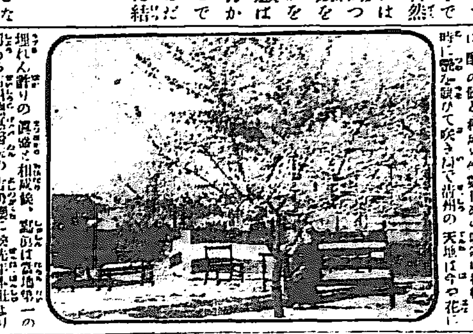
以て支拂つて遣る事にした其の代りに雜貨屋は他の朝鮮田舍の雜貨の如うな暴利を貪ぼらぬ事を誓せた斯う云ふ風であるから雜貨屋も掛倒れが無いから安價に物品の供給が能きると云ふ事に成つた、即ち雜貨屋が仲介して居る一種の購買組合に外ならぬのである、此の外まだ生活に直接關係の有る不時の災厄病死等を救濟する爲めには

▼鹽田協會なるものが設けられて

▽必須の場合には

一箇月の給料を限度として貸出しを行ひ之れを十箇月月賦で返濟せしむる事になつて居る故非常の場合を平常から苦にして其れが爲に仕事が手に付かないだの神經衰弱を起す樣な事

□清州の櫻



四方の山々は靄に包まれ幽く[illegible]なる[illegible]の[illegible]方には悠々と[illegible]の[illegible]を見る[illegible]は[illegible]と[illegible]川水の[illegible]に[illegible]時に[illegible]咲き[illegible]清州の天地は今や花に埋れん許りの賑盛と相成候、當局は當地第一の桜ある清州地方法院の吉野櫻本年は殊の外見事[illegible]に[illegible]花なつけ居候、[illegible]水堤塘上に植付けたる若木の櫻[illegible]本年は一株[illegible]三百宛の花を見せ居り候廿六七日頃が見頃かと存じ候

は無い、貯積立金、郵便貯金、生命保險と云ふ樣な貯蓄は極力奬勵せられて居る、それに田舍だけに奇麗な衣物やお洒落道具は要らないから比較的貯蓄が爲易い大正二年には預金と借金を差引いた平均一人の貯金高は僅かに十二圓ばかりであつたのが現今の處では平均一人七十餘圓の貯金が出來て居るわけで有る

▼百七八十人の平均貯金が

▽七十餘圓に當て

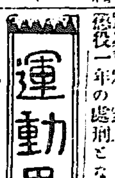
居るから決して少ない方ではないまだ此の上に從來は相互の間に季節祝儀吉凶等の贈答品が殆ど虚禮に流れ之が爲めに各家庭では尠からず苦心して居る傾が有つたので所員以上の官吏は清交會なるものを組織して一回の贈答は如何なる場合でも其の額五十錢を超えざる事と云ふ規則を定めた鹽田生活の美しい平和は斯云ふ深い根底を有して居るのである（つゞく）

京城日報毎日申報各支局主催
御大典活動寫眞

■水原（廿六日晝夜 廿七日晝夜） ■大田（廿八日夜間 廿九日晝夜） ■全州（三十日夜間 一日晝夜）
■群山（四日夜間 五日晝夜） ■光州（六日夜間 七日晝夜） ■木浦（八日夜間 九日晝夜）
■馬山（十二日晝夜） ■鎭海（十三日晝夜） ■大邱（十四日夜間 十五日晝夜）
■釜山（十六日夜間 十七日十八日晝夜）（豫定なれば多少の變更を見るやも圖られず）

京城日報、毎日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

活動寫眞謹寫巡業日程



運動界

▲野球仕合

青年會對鐵道

來る二十九日土曜日鐵道對京城青年會（前號五星とせしは誤り）はいよいよ當日午後二時半より龍山鐵道公園に於て擧行する筈、皇城青年會は京城在住の名手を網羅せるチームにして曾て内地に遠征せしこともあり鐵道又大いに練習を重ね大敵に備へんとす、當日は定めしエクサイトせるゲームを見るに至るべし兩軍のメンバー次の如し

	鐵道	青年會
P	林	朴
C	山口	李
1B	門田見	李
2B	松島	源
3B	羽室	李
SS	猪俣	方
LF	諸富	玄
CF	岩田	李
RF	中島	金

▲京電庭球戰

京城電氣會社運動部庭球選手連は龍山同社合宿前のコートに於いて日々練習を爲し居れるが來る二十八日午後二時頃より電燈課對販賣課の庭球試合を爲す由

●暴れ男のお灸

大阪市北區中之島四丁目生れ住所不定賭博常習前科二犯の良助事小原良平（三二）が三月六日午前二時頃金華樓の玄關の硝子戸を蹴破り格子を叩き毀し裏切戸を押し開きて侵入し仲居及び雇人等を毆り飛ばす等亂暴狼藉を働きたる事件は二十四日京城地方法院にて懲役一年の處刑となりたり

▲浪花舘 女藝太夫竹本[illegible]一座にて各々[illegible]を物し連夜盛況なるが八日目二十八日夜の語り物は左の如し
△[illegible]の入船（入登）△梅野由兵衛柴[illegible]町（連昇）△玉藻前三段目道春館（升連昇）△堀川猿廻し[illegible]ヶ森の段（長花）△八陣守護城正清本城の段（昇六）△三勝半七酒屋の段（長作）△伽羅先代萩三段目御殿上使の段（伊達若）△傾城阿波鳴門[illegible]切の段（昇昇）

▲大正舘 二十八日より特別番組と差替へたりその重なる狂言は左の如し
△實寫佛國ダル二河の舟旅行△喜劇ジャガタラ五斯工夫△滑稽脂肪者の失敗と緑西奇談怪公爵全三卷△六千呎△現代實寫旗一代全三卷二十七場村上[illegible]奔△戰士[illegible]五郎一代記全三卷

▲御成座 二十七日夜の幕より狂言は想夫憐全八場なり

だいどころ その日く

回菜飯 柔かい菜を細かく刻んで一寸揉み固く絞り、少し鹽を入れて炊いた飯の出來上がり際に釜の中に投じて共に蒸し、櫃にうつす時能く混ぜろ、副菜物には何にでもすましのものを選んで供す。

商況

東京株式特電

受渡し準備に付休會

二十七日 前場寄付	大引
日本郵船 ……	……
東京電燈 ……	……
鐘紡 ……	……
同新 ……	……
日本麥酒 ……	……
東株第一 ……	……
東株第二 ……	……
東新第一 ……	……
東新第二 ……	……

債券現物特電

二十七日出來値段（前日との比較）

東京市債	六二、〇〇	……
京城電氣	……	……
朝鮮銀行	……	……
朝鮮鐵道	一四三、五〇	……
南滿鐵道	……	……

東京公債直取引特電

二十七日出來値段（前日との比較）

五分利公債	九五、六〇	……
五分特別	八二、三〇	……
四分利	八一、三〇	……
二十四圓甲	九五、〇〇	……

深川在米特電

二十七日和在荷	
肥後米	一〇九、八三
加賀米	八九、六三
内地米	二〇、二二七

東京期米特電

廿七日前場（六月限）	後場
寄付 一四、五二	……
高値 一四、五五	……
安値 一四、四〇	……
止め 一四、四四	……

大阪期米特電

二十七日前場	
當限寄付 一四、三〇	
中限寄付 一四、六七	
先限寄付 一五、二六	止め

大阪株式特電

東新小高し

銘柄	前場寄付	前場止	二十七日後場
宇治川水	[illegible]	……	……
神戸電鐵	[illegible]	……	……
京阪電鐵	[illegible]	……	……
和歌山紡	[illegible]	……	……
合同紡績	[illegible]	……	……
攝津紡	[illegible]	……	……
同新株	[illegible]	……	……
東洋紡新	[illegible]	……	……
大阪商船	[illegible]	……	……
日本郵船	[illegible]	……	……
大阪米穀	[illegible]	……	……
東京新株	[illegible]	……	……
大阪株式	[illegible]	……	……

大阪三品特電

二十七日前場

四月限	一八、二九	一八、二九
五月限	一八、二〇	一八、二〇
六月限	一九、九〇	一九、八〇
七月限	一九、四〇	一九、四〇
八月限	一九、七〇	一九、九〇

下關期米特電

廿七日前場

	寄付	高値	安値	止め
當限	……	……	……	……
先限	……	……	……	……

朝鮮物産特電

馬山改良	三、四〇	大豆 [illegible]
群山改良	二、[illegible]	大豆 [illegible]
木浦改良	二、四〇	大豆 [illegible]
同特改良	二、四〇	大豆 [illegible]
仁川改良	二、四〇	大豆 [illegible]
南鮮改良	二、[illegible]	大豆 [illegible]
釜山玄米	……	……
釜山中白	……	……
仁川中白	……	……
仁川白	……	……

雜報

◎綿糸更に不勢

綿糸は時に活躍一跳れ躍さんかの氣勢を示すも到底前途に望を囑すべき材料の未だ時期に到來せざるにあらざるも未だ時期は到來せざるに[illegible]何分綿糸界の不振と各地の商況も支那騷亂の收らざる一面銀塊高も支那騷亂の[illegible]

●牛皮漸次上向

大阪の牛皮市場は從來漸次在荷の減少を見つゝある爲め自然賣口多き由なり未だ市價の昂進を告ぐる迄に至らずと雖も頃日來南京せる大阪皮革商は最早出廻り減退の時期に近づきつゝある見込み買職んなるものと[illegible]

五十錢安綿布二錢五厘安

[illegible]

●更に約一圓方の昂騰

[illegible]

●染粉取引皆無

[illegible]

●金銀箔類は底固し

[illegible]

●新茶三回目入荷

靜岡新茶は第三回目として約一貫目許り當地宇治屋商店に入荷せり價格は十貫目百圓見當なるが産地は其後天候順調に復するや茶芽の發育頗る良好なりといへば之より引續き各店へ入荷を見るに至るべし

（依然底固し）

仁川米豆取引所仲買人 まるみち ㊐ 仲買店 文耿人 土居勝 電話二八三番

下關相場

▲朝鮮白米は強保合 [illegible]

京城正米

一等白米（當用）	十三圓四十錢
同	十三圓
二等白米（當用）	十三圓四十五錢
同	九圓八十五錢
深川大豆	九圓八十五錢
ア ツ ボ大豆	九圓八十五錢
同	九圓八十五錢
元山大豆鮭上	九圓九十五錢
同	十圓
白永洞大豆	九圓八十錢

南大門の廻穀

水原玄米一〇七叺 一山製二〇二叺、平澤玄米一九〇叺 貿二浦白二六叺、鳥致院籾一四〇叺 金村白米一七叺、平澤玄米二五八叺 水原玄米八七叺、平澤玄米六七叺 平澤玄米三九叺、平澤白米一四四叺

仁川現物市場

▲籾入津二百餘袋 氣配別段變らざる唱へ
▲正米入津なし 氣配は右米の依然不引合なるより賣込りの風情にて前段變り模樣なく保合を報じ居れり
▲大豆入津なし 氣配頭保合

釜山穀物市場 廿六日

▲正米（保合） 當地正米相場は近時鮮内商[illegible]大阪期米の[illegible]らず移出口には不引合の[illegible]來筋に賣り放すより外なき[illegible]は相場は差したることなく保合の[illegible]況なり
▲大豆 相變らず品薄の事とて保合にて小口取引のみなり

總出來高	二千三百八十八俵	
内 玄米	二千三百三十八俵	
大豆	三十九俵	

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 三巳仲買店 電話[illegible]

生魚市場

郡山木浦よりは比良目及びチヌの[illegible]相[illegible]の數に上れり鯛は依然[illegible]數著く增加すべし日丸市[illegible]出荷左の如し
タイ四〇、紅小タイ一五、チヌ八、サワラ一八、スズキ九、ヒラメ一〇、サヨリ一六、タコ九、イカ一〇、コノシロ一三、ボラ一三、ツナ[illegible]

仁川期米

▲二十七日前場

前場は十五圓二十五錢安の入電と昨止より二節二十二錢こ錢と六錢安に寄付二錢こ返したるが大阪三節[illegible]

小安き移り

不申先十一圓五十三錢[illegible]

十六錢こ安

二十錢五面は[illegible]買物多く又復五錢跳れ返し下げ[illegible]り成行を示して散會

▲二十七日前場

一節	[illegible]
二節	[illegible]
三節	[illegible]

市場零聞

▲前場底強し

[illegible]

▲月末薄商内

[illegible]

下値の形勢

[illegible]

大體一順喰ひ

[illegible]

▲今後の大勢

[illegible]

途轉賣越

[illegible]

高場所の目下全國

[illegible]

眼先の問題

[illegible]

確實 仁川海岸町取引所仲買人 ㋮ 廣瀬三次郎 迅速 電話一六〇番 六三二番

▲月末平穩乎

[illegible]

新甫上鞘

[illegible]

六限買據

[illegible]

仁川米豆取引所

二十七日の六月限

	寄付	高値	安値	引
一節	十一圓五十三錢			
二節	十一圓五十五錢			
三節	十一圓五十二錢			
四節	十一圓五十四錢			
五節	十一圓五十三錢			

賣買取組高 四月限 五十石、五月限 四千九百石、六月限 三萬三千八百九十石

出來値比較 二十六日後場前日と比較 一一、六〇 七安 一一、五九 四安 一一、六〇 五安 一一、五六 四安

堂島だより

[illegible]

田中金融部 一切寳買の現物信用取引 電話長一六二八番 一五二番

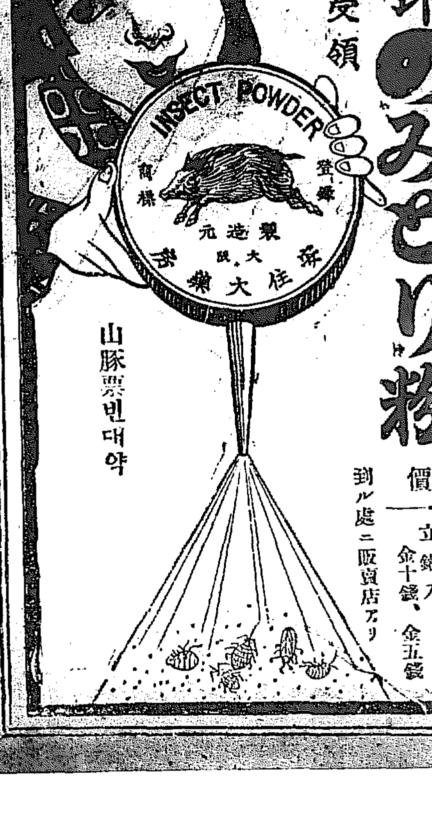
北濱だより

▲大阪商船株

[illegible]

▲堂島米株

[illegible]



賜天覽御買上
猪印のみどり粉
金牌受領
定價 吹出散布器入 金二十錢 立鑵入 金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ
山豚票빈대약

宮内省獻上品
衛生口錠 カオール
春の外出には必ず
人込群集中飯食の前後等最も必要
▲他人の惡氣を豫防し▲精神を爽快に▲元氣を盛ならしむ
◎まが玉形卅五錢◎袋入五錢十錢◎箱入廿錢五十錢一圓
オリヂナル本舖 東京水天宮前 安藤井筒堂

謹告

一金壹千圓也

右は故小倉正夫儀太陽生命保險株式會社と契約致居候處今般死去致候に付頭書の金額同社仁川代理店庄野仁川支店を經て受領致候間此段契約者各位に謹告仕候也

大正五年四月

仁川府宮町二丁目五ノ七
保險金受取人 小倉敏雄
親權者 小倉マツノ

瀬戸醫院 外科 皮膚科

旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

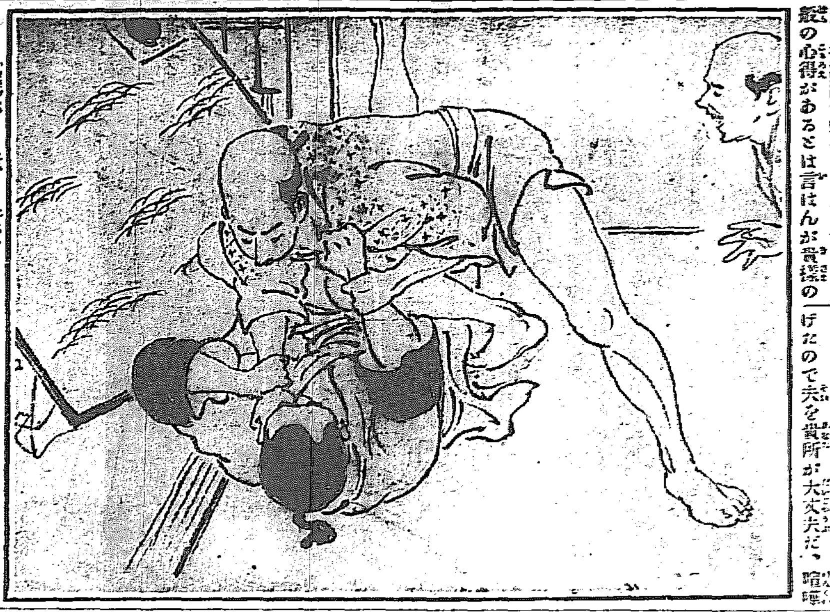
如何して出願の許可を得ん乎
出願者の福音
鑛區鑛種別分布圖添付
朝鮮鑛業出願者必携
觀よ 有望なる寶庫を發見しながら手續不備の爲め空しく他人の好餌に任する者數あるに過ぎず、此等の士は速に來りて本書を見よ
本書は新鑛業令並に同施行規則に依り鑛業の出願並に許可に關する萬般の手續方法及鑛業者の遵守すべき總ての事項を遺憾なく說明したるものなり苟も鑛物を採見して鑛業の出願をなさんとする者並に鑛業者の座右に欠くべからざる書なり。
新鑛業令に依る今日迄の出願數は既に千件を超へたり成効者果して誰乎
定價金六拾錢 新形總布製金文字入 郵稅四錢
發兌 京城永樂町 斯道館 振替口座二八四番 電話一〇七二番

宮本武藏

第二十一回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

宮本先生振返つて 武『コレ按摩、默つて聞いて居れば無禮な事をいふ、何れも是れも満足に出來なからうとは何だ、さういふ貴様は何か武藝の心得があるのか、人の按摩を兎や角ういふには自己の腕に覺えがなければ言はれぬものだ、何か貴様劍術體術の眞似方が出來るか ○『アハヽヽヽ、劍術體術の眞似方が出來るかとは小癪しき一言、俺は貴様の様な五目流や擂溜流の劍術とは違ふ武藝十八般の心得があるとは言はんが貴様のやうな痩武士が十人十五人懸つたとてビクともする俺ではない片ツ端から吹飛ばして終ふ、貴様の武藝は型だ、太平の道具だ、俺の方は亂世の用だ、イザ合戰といふ時に日置流も穴澤流もない敵と引組んで首を取りさへすれば宜い、其で武士の役は濟む、早い話がいくら貴様が何流だ斯流だといつて威張つて居ても俺が一つウンと力量を入れゝば立處に摑み殺して終ふ、貴様などは他愛のない人間だ 武『默れ貴様の如き按摩風情に摑み殺される人間と思ふか、井の内の蛙大海の深さを知らず貴様などは片田舎に生長つて少し許りの武藝を聞嚙り僅かの小力を頼みとして第一武士と見ると喧嘩を吹懸け金錢を貪るなどゝいふ悪い奴だ、上には上のあるもの名人上手のある事をしらんか白痴め ○『此奴が／＼若年の分際として小癪な事をいふ奴だ、サア俺も一旦摑み殺すといつた以上は殺さずには置かん、一摑みの下に息の根を止めるから後悔するな 武『宜し拙者が摑み殺せるなら殺して見ろ、○『其の場に至つて後悔するな 武『いふにや及ぶ』亭主の又兵衛驚いた 又『まア／＼武家様待つて下さい其だから私が言はない事ぢやアございません、大騷動になりますと申上げたのに貴所が大丈夫だ、喧嘩といふものは賣るから買ふ、買ふから賣るんだ、いくら賣つても買はなかつたら宜らうと仰しやつたから呼んだので、到頭貴所お買ひなすつたぢやアございませんか、尤もまだ喧嘩を賣るのは名人だから……武『まア亭主心配するな、傍若無人の事を申す奴だから拙者が懲らしめのためにやる ○『生意氣な事をいふな、俺の方で取つて押へて擂溜流の技倆を見せてやる』兩人立上つて支度をいたし、宮本先生は白布を以つて腹を捲いて稽古着一枚、按摩は衣類を脱いで之も肌着一枚に小倉の帶をグル／＼と締めて ○『サア往くぞ武士 武『宜し ○『ヤ、ヤア 武『ヤアオー ○『エイヤア』パッと兩人立上ると双方一度に飛込んでムンヅと組付いた 又『ヤア大變だ到頭組打が初まつてしまつた、之れだから私が念を押したんだ、また此の按摩も厄介な按摩だ素直に療治をして居たらよささうなもんだにお武家様と見ると喧嘩を吹懸ける悪い性分だ、何うなる事だか大變な事になつた』とハラ／＼として居る、其中に宮本先生面白くなつて來たと見えて 武『エイヤアハア』此方でも ○『ヤアオーハア』といふ懸聲、其中に宮本先生按摩の手頸を取つて手元へ引付け 武『エイツ』と一聲自分がパッタリ疊の上へ轉がり乍ら按摩を二間ばかり向ふへ投げた、之れは捨身といふ手で按摩は向ふの襖紙へ打付つたからバリ／＼バリと襖紙は破れる隣りの客は驚いた、湯上りで裸體の儘廊下へ飛出す、其中にコロ／＼と轉がつて居るかと思ふ中に按摩がパツと飛起きて組付いて來る、按摩の足が宮本の股の間へ入ると今度は宮本が仰向に倒れる、途端に火鉢を蹴飛したから座敷一面の灰神樂、按摩が上になるかと思ふと宮本が下からパッと撥返す、今度は按摩が下になつて宮本が上になる、轉がつて往つて障子に打付る障子がバラ／＼バラと打毀れる、ドタンバタン大變な騷ぎだ、亭主は驚いたの驚かないのぢやアない 又『お武家様も按摩さんも宜加減にしてお呉んなさい、障子も襖紙も皆んな打毀れて終ふ 武『毀れても苦しうない 又『貴所は苦しくなくつても私は苦しい、どうか組打はお止なすつてお呉んなさい、第一火鉢を蹴飛したり何かして火事でも始まつては大變で』亭主は火鉢を持つてウロ／＼して居る。



入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話一九四番

四月二十九日九星
舊三月廿七日丙申
本命九紫 南定大安

▲九紫 込やり手段の事有り 新事見合西方は吉 暗劒南 ▲一白 近親の事有り 新事手控萬事は吉 一切のかけ事ぜぬがよし ▲二黒 公明正大の日 轉居旅行入學名弘金件求職婚禮電氣鍍等萬吉 ▲三碧 順潮の日 轉居行商入門名弘探鑛山求職縁組等萬吉 ▲四緑 愉快の日 轉居入學普請で吉 女子は遊技指南を始むるに妙也待人來る ▲五黄 商當繁昌の日 轉居行商入門名弘家作求職嫁娶收金登錄等皆吉 ▲六白 心變りのする事有り 務付て新事手控萬事工は妨なし ▲七赤 外見美にして内不印の事有り 新事手控萬事は吉 ▲八白 腕押のきく日 轉居旅行 川漁名弘 金件求職 探鑛婚禮試驗を受くる等皆吉

滿蒙處分論
露國大本營クロパトキン將軍原著日高包非譯
定價金一圓
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

（新學期開講）入會の好機
▼薬劑師志望にして通學の餘暇なき者は迷ず入會せよ本會は容易に其目的を達せしむ
▼薬劑師に非ざれば藥業に從事する資格なし藥業者は速に此際入會者に限る
大特典提供
▼本會講義録は學説新新内容豊富明瞭了如何なる初學者も難無く得易し
講師 飯盛ドクトル有賀藥學士前谷藥學士野口文學士本村山藥學士大河藥學士小島藥學士稻田藥學士見森大瀬藥學士
東京樂學會
會則要郵券二錢
東京神田猿樂町廿五也

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
代理店
京城明治町一丁目
櫻正宗發賣元 山邑京城支店
電話八四九番
振替貯金京城七五番

世界の人氣は更に愈々
ペル
煉香油に集るポマードに
本舖 平尾賛平商店 東京
四代理店 平尾賛平支店 大阪

帝大醫學藥學博士多數實驗の結果理想的治淋劑と確定せる
淋病新藥
ツヨール
◉到處藥舖に販賣
發賣元 東京市日本橋區檜正町九番地
電話本局三五九五番
振替東京一九七二九番
▲説明書無料贈呈す
ツヨール商會
▲本品は殺菌力強大にして絶對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、胃腎炎、腎臓炎、消渇等其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す
三十粒 五十錢
五十粒 八十五錢
百粒 一圓五十五錢
廿五瓦 一圓

御園白粉
純無鉛製
花見小袖に
うつりの好いお化粧振は
御園白粉及御園化粧品一式に限ります
御園白粉は和風洋風薄化粧濃化粧を問はず、自由自在思ひの儘の化粧が出來、化粧水白粉下ともいづれも皮膚を滑に色澤よく肌理を細かにする力のある品ばかりで調劑したる優良な品です。

和風化粧
御白粉下に……御園の露
御襟白粉に……御園固煉白粉
御顔の白粉……御園ねり白粉
御仕上げ用……御園の花粉白粉
御顔直し用……御園撫子打白粉

洋風化粧
御白粉下に……御園クレーム
御顔の白粉……御園の花粉白粉
御同仕上げ……御園淡紅色粉白粉
御淨化粧用……御園はき白粉
御顔直し用……御園紙白粉

御園化粧品發賣元
丸見屋商店
御園化粧品製造本舖
伊東胡蝶園
(86)

京城日報

第三版

廿八日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

京城日報

歐洲戰局

去二月二十一日以來獨軍ヴェルダン要塞を攻撃する甚だ急なり。只今日獨兩方の相爭ふところは、要塞戰の陣地にして、其の旦暮に一消一長を競ふは、畢竟要塞戰の防備戰鬪と見る可く、其の前途如何は未だ逆睹す可からず。頃者世間或は歐洲大戰役の終局漸く近けるを云ふものあれども、因より其の何の據あるかを知る能はざるなり。戰爭は其勝敗甚だ明白なるか然らざれば則ち交戰者の双方共に其形窮り其力盡きて、復た爲すべからざるに至るかにあらざれば、其局を結ぶをなし。且其局を結ぶは、偶ま後日の禍因を遺すに過ぎずして、決して望むべきの事に非ず。今度の如き世界的大戰役は、到底明白なる勝敗を見る能はざるものなりとせば其双方の力盡き形窮るまで相爭ふの外あるべからず。特に此戰役の終局に對して盡力すべきものは、北米合衆國の外に之を求むべからざれども、其米國すら今や獨逸と國交を斷たむとするの情勢の下にあり。交戰者の仲間に周旋して平和回復を圖るが如きは、全く思ひも寄らざる所の事なり、其れ既に居仲周旋者なし。今日に於て戰役終局を云ふは畢竟架空の議のみ。且世間の耳目は、今方にヴェルダン要塞戰爭に集中するも、此一戰もて勝敗を決するといふも蓋し不可能なり。獨逸は其全力を要塞下に集むるといふも、果して全力なりや、將た又他に用ふべきの餘力ありやは疑問にして、現に露國は其の國内に在るところの獨軍を、掃蕩する能はずして、僅かに小亞細亞にて土軍を困迫するといふに止まり、英佛軍は空しく其戰線を固守するだけにて獨墺軍の虚を衝いて、之を破ふるを爲さず。近報却て敵軍の攻勢を取れるを傳ふるを頻々なり。故に現狀より推測するときは、假令獨軍要塞攻撃に敗るゝとも、直ちに屈服す可しとは斷定する能はず。之に反して、萬一にもヴェルダン要塞陷落し、又は沈默するとも、聯合軍は決して屈服するをなかる可し。然りと雖も、戰役久しきに渉りては歐洲交戰國亦各々相當の困厄なきを得ざるなり。戰爭は戰場に於て決せずして、却て其財力、製造力及び兵員補充力に依りて決するをあり。其政治上及び社會上の困厄も、亦戰爭の爲めに避くべからざる所にして、獨墺二國の窮狀は固より想像の外にあるべく、露佛諸國亦相當の艱苦なきを能はず。英國は戰場とは遠く相隔絕し、其富資亦無限なりと云ふと雖も、一徵兵制度の爲めに數ば政治上の紛擾問題を演出し、其兵員補充武器軍需品の供給亦意の如くならざるあり。其の連合諸國の軍費補助の如き、亦英國政府及び中央銀行に取りては容易の業にあらず。今日歐洲の戰線に於て、獨軍獨り跋扈跳梁し、聯合軍の策動甚だ緩漫なるものあるは、主として此等の事情にこれ由る。然れども此緩漫なるは則ち戰局の長引く所以なり。

上杉鷹山公 (一)

内務部長官 宇佐美勝夫

鷹山公上杉治憲は日向國高鍋藩主秋月種美の二男なり。寶暦十年、十歳にして米澤藩主上杉重定の養子となり、明和四年襲封す、時に歳十七、天明五年退隱するに至るまで職に在ること十九年、其後偶隱殿にありて藩政に與聞すること三十八年、文政五年、七十二歳を以て逝去す。治憲襲封の時に當り、米澤は恰も藩勢窮迫の極に達し、之が挽回をなすに非凡の手腕を要するの秋なりしが、治憲は實に此使命を果したる名君なりき。今該藩窮迫の源を繹ぬるに、往昔上杉景勝秀吉の爲め會津に封ぜられ、百二十萬石を食みしが、關ケ原役後米澤に移封せられ、食祿は其四分一に減じて三十萬石となれり。當時屈指の大國主たりし上杉家も一朝此變改に遇ひ、已むを得ず藩祿に節約を守り、代々律義質素を旨として僅に藩勢を維持し來りしが、寛文四年綱憲幕府の高家吉良氏より入て襲封する際、更に三十萬石の半額十五萬石を削減せらる。加ふるに其の實父吉良上野介義央が綱憲の幼年なるを以て藩政を攝理するに及び、諸事幕府の所爲に傚ひ分外の生活を爲し、先代儉素の風は何時しか忘却して遂年奢侈を極め、國用日に增して三十萬石の時に超過し、一國の經濟は出納常に相適はず、舊來の蓄財を蕩盡して重器什物を典賣し、負債重積して諸士知行の借上をなすに至り爾後百餘年を經、寶暦の頃に至り藩財政の窮乏其の極に達し、上は滿足に公務を果すこと能はず、下は藩民飢饉に遭ひ、田野年々荒れ、戸口月に減じ又如何ともする能はざるに至れり。

治憲夙に其禍根を察し、上下一致して非常の大儉を實行し、以て此の窮狀を救ふの外なしと決心し、入封に先ち江戸在勤の諸役員並に平士一同を招集して儉約の大旨を諭し、更に執政を米澤より招致して其主意を説き、又志記と題せる一篇の文を作りて藩諸老臣に親諭する所あり。爾來專ら儉素を以て政綱とし、身親ら其範を示せしかば闔藩靡然として風を爲すに至りたるは皆人の知る所にして、小學校國定教科書亦之を揭ぐ。治憲一面斯の如く儉約を守ると共に一面殖産興業のことに努め、或は治水灌漑の業を創始して荒蕪地の開墾を獎勵し、或は他藩より移住者を招きて人口の蕃殖を圖り、或は諸方より優秀なる技術員を集めて[illegible]の業を盛にし、桑樹の外大に漆樹並びに楮の植栽を勸獎し、又新に馬市の制を定めて畜産を興し、其の他淡水魚の養殖、陶器業、鍛冶業等苟くも國益となるべき産業は悉く之を獎勵し、既にして物産の産出漸く增加するや、他國より商人を誘致する等の策を講じて販路を外に需むる等施設經營する所殆んど遑算なく、要するに其の產業政策たるものは十五萬石の領内に於て優に三十萬石に相當する生產あらしめむことを根本義となしたるものゝ如し。今茲に此等事業の詳細に就きて述ぶるの餘地なきは余の遺憾とする所なり。

放浪漫記

大谷光瑞 (三月十八日マテランにて)

三日行樂の後又汽車にてカンダラに至る此地はデッカン高臺の西崖にしてマテランと相對し眺望等しく佳なり鐵道の是を登るや頗急二十七分一を用ひ而もレバーシンクを行ひ頂上に達せり從て機關車も亦イガツトプリに於けると等しく特殊の物を用ひ牽引せり近時ボンベイの巨富タタ氏此の地に水力電氣を企て以てボンベイに動力を供せり此地九旬の雨季の外雨なく素より河川なく水は崖上に大湖を作り之に湛へ西崖の絶壁に一千六百餘尺の落差を得動力を發せりボンベイの諸川に從ひ無限に擴張をなすを得、水力發電として本邦の如き河川瀑布によるものと其類を異にすと雖も崖上の地勢は至る所巨浸を蓄ふるに適せり、一千五百尺以上の落差は又到所是を得可く地既にボンベーに近く素より至便なりとす現時の使用電力は詳知せずと雖も三萬キロワット前後ならん乎、之を送るに四十六哩の鐵線を用ひ三線式として十萬ボルトの電壓となせり、而してボンベー變壓所より使用者に供給するに當りては一キロワットに付半アンナを徴せり此地を去りプーナに向ふプーナは大都市として降雨季中は西崖に遮られ雨雲瀉下せず爲に雨量は二七インチ八なりとす是西崖を距る纔かに直線にして二〇哩を隔つに過ぎずと雖も蓋し雨季の雨量はアラビヤ海の水蒸氣の凝縮せるものにして其高度頗る昇り西崖の平均高度二千五六百尺を衝撃するや盡く瀉下し去り其背後に至ては上中層雲のみ東北走し既に雨雲は崖を過る能はざるが如し是一奇觀なりとす地勢は西崖最高を東に傾き頗る緩漫なりシンネは乾燥期は炎日燬くが如く現に二月下旬なるにかゝはらず午後九十五度に上れり、此時ボンベーは八十二三度に過ぎず夜間は殊に冷にして七十度に下る此地は特に記すべき名勝なしと雖も高原上に於ける快適なる都市にして西部印度に於ける學術の淵叢なり、殊に梵語の如きは東部のベナレスと相類似せり、此地よりマハバレシュワールに至る八十哩は鐵道に依らず自動車にて疾走せり鐵道は遠く距り之を利用するに便ならず

マハバレシュワールはボンベー省中第一の避暑地にして平均高度六百尺、紳風常に往來し其形勢マテランに數倍せり地勢は即ち高原の西崖にしてこの附近は一帶に北部より高し、樹林鬱蒼、マテランに比すと雖も斷崖は三千尺に近きもののなきに非ず、山角を繞り道路を附し遊覽に便なり夕陽西天に沈むの邊羅山萬馬の奔るが如くアラビヤ海に盡き光景頗る雄大なりとす、マテランは四邊壁立せる高臺なるを以て其の眺望之れに伴ふと雖も此地は東方は後徐にして南北は相連亙するを以て唯西望あるのみ然れども其の西望の一を以て猶マテランの四望に敵し且餘りありと云ふべし、高度はわづかに四千六百尺なれども西風常に海上より來り爲めに温度は著しく低し。プーナより來りし炎暑を忘れ頗る快適を覺ゆ、此地の雨量マテランより更に大なり蓋し地勢二千尺を加ふるに依るならんか九旬の雨量二百九十インチに達す故に乾燥期中避暑に來れるボンベー省知事以下の各人は皆去つてプーナに至る事亦人影を絕すとマテランに同じ、此地東方十二三哩にしてパンチガニーと稱する地あり高度マハバレスワールに讓る事二三百尺にして風景亦著しく劣れり蓋し溪間を望む外他の奇勝なし然れども雨季九旬の雨六十インチに過ぎず即ちマハバレシュワールの六分の一なるを以て又居住に適せり此理已に上述の如し、故にマハバレシュワールは漸く季節の居住に適するに比し此地は終年の居住をなし得べく而も温度は大差なきを以て近時家屋を造り居住するもの多し。(未完)

大阪財界便り

△煉瓦の前途悲觀 工業界の好況に伴ふ工場の擴張等、實際の消費量增加せるに加へ豫定の注文期に合はざる關係より思惑熱熾烈にして目下煉瓦に對する需要は非常に旺勢なり從つて相場は普通十五圓なりしもの三十圓耐火用白三十圓なりしもの六十圓見當と倍額暴騰せり而も最近岡山以東名古屋以西の間に於て同業者新規に開業せるもの十數軒其の資本金額五十萬圓内外に達せり故に全部の製品市場に現はるゝと同時に市價の暴落を招致するならんかと其前途を懸念せる者少からずと

△洋紙界恐慌來 實際の需要如何に關せず製紙原料の缺乏を材料として思惑的に買煽りたる紙價は其後の需要減少し昨今反動的暴騰を告げたること既記の如くなるが是れが爲め彙の思惑筋は思惑品を庫中に收めて夢想せる利益と反比例に多大の打擊を蒙ることゝなり過般薄資なる中間屋に破綻者を出せしより金融業者は紙商に對する資金の融通を警戒し益々嚴重の態度を持せるに資本豐富ならざる當業者は玆に全く金融の途閉塞せられて昨今非常なる窮狀に陷れるもの少からざる模樣なり從つて此の儘に推移せんか第二三の破綻者を出すべしと同業者間の人氣著しく緊縮し自重と警戒を加へつゝありと云ふ

△炭價益々昂騰 石炭界は近來船腹不足の爲め運賃の暴騰を來して入津絡繹減少し安治川濱の貯炭も昨今減少せるの傾きあり而かして一方九州地方の產地筋は採炭の制限を解除せるも未だ實際は其の量の石炭輸出せられたる爲め產地の運びに至らず而も近時英國方面へ多くの貯炭も勢ひ減ずるに至り相場は長州炭は四十五圓と變らず保ち合へるが豐前炭は前月より一圓方騰貴して五十五圓を唱へ三池塊炭は四五圓方騰貴して七十圓内外に昂進し各種を通じて一般に底意硬く目先き一般の昂進を見るべき狀態に在り三月中に於ける安治川濱直扱炭は約二億七千萬斤に達し未曾有の盛況を呈せるが昨今も平均九百萬斤内外の入津を見つゝあるが諸工業の勃興と共に石炭の需要頗る旺盛なれば月末より五月に亙りて一大活況を呈するに至る可きかと

△過燐酸輸出 東洋及び南洋方面の需要に係る過燐酸は歐洲戰亂以來日本品の獨占する處となり頗る活況を呈し居れり從來濠洲向該品は利益なく單に荷捌手段に過ぎざりしが今回濠洲より千五百噸の注文あり大日本人造肥料會社の手にて約束せるが其の價格は船上渡しにて一噸四十五圓十錢目俵一圓四十錢なれば從來の例に徵し稀有の好條件なりと

△大肩替成立 一昨年外商の後援を標榜して買占めをなし其の買振りの猛烈なると資金の豐富に堂島市場の人をして恐怖せしめたる期米界當年の將軍高見丑松も其幕下池原某が敵將古九に款を通じて機密を漏らせしため遂に一敗地に塗れ延て關係二十七仲買店を危殆に瀕せしめ已れも破產の申請を受け以來久しく消息を絶ちしに今回再擧の時期到來せしにや二十日に至り中限四萬石先限二萬石計六萬石の大賣玉を十九日中に於ける安値即ち中限十三圓八十錢先限十四圓十七錢(一說には十九日閉場止値ともいふ)にて肩替り成立を見たるを以て二十一日朝始めて高見の活躍を表白し今後大に市場を席捲せんとするに至れり尤も高見の背後に潛める黒幕の明白せざる限り薄弱を云爲するものあれど其の力は油斷ならずといひ居れり(大阪支局)

京日詩壇

○盆桃
一尺盆栽半尺梅。願松盼竹歡枝開。三清之美雖兄弟。不是花魁孰是魁。

評曰 三首有三樣之趣、而不帶一塵埃、足比三友之清。

○盆梅 岡山 牧雲
遥城只見雪皚皚。風物荒涼春未回。爐下防寒三盞酒。林頭破笑一盆梅。樹支瘦骨傲頑石。花吐幽香蒸碧苔。擬偶西湖林處士。黄昏月色透窓來。

評曰 情韻生動、風致欲仙。

○同上 望月 桂軒
元是雲間物。盆中託一身。久無風雨會。奈此老龍鱗。

評曰 大有志士不遇時之慨。

仁川米豆取引所

五月限	二八、六〇	二八、七〇
六月限	二八、五〇	二九、三〇
七月限	二九、四〇	二九、五〇
八月限	二九、七〇	三〇、〇〇
九月限	[illegible]	[illegible]

▲依然低弱し [illegible]

▲現物界 [illegible]

廿七日の六月限 [illegible]

四月限 [illegible]

京城府告示第八號
來四月三十日午前十一時和鐵臺公園ニ於テ招魂祭ヲ執行ス
大正五年四月二十七日
朝鮮總督府府尹 金谷充

京城 春川 間自働車運轉
京城發午前八時。春川發午前九時
京城南大門通一丁目二十二番地
廣橋京春自働車組 主務 金正淵
電話二一九番

●牛耳洞觀櫻 「京春自働車商會」
牛耳洞加五里行
自午前七時 至午後十時 (乘客定員七人 貸切往復十四圓)
京城水標町 松田壽男 電話二二三八番

一貳拾五キロ發電機貳基 附屬品共
但入札保證金各自見積額百分ノ五以上
右競爭入札ニ付シ賣却ス希望ノ向ハ來五月九日當課ニ出頭現品熟覽ノ上同月十日午後一時迄ニ入札スヘシ但即時開札ス
大正五年四月二十七日
李王職會計課

果樹、花木、庭樹、各種苗木販賣 平安苗圃
弊園は多年の經驗を以て育成したる各種商木數百萬本あり、其の種類の正確優良なる事他に比類なかるべし
外に特製剪定鋏、牛田式噴霧器、藥劑、肥料、害蟲驅除藥品等、西鮮に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に攻玉錄を進呈す
朝鮮平壤府東城口 電話二六四番 振替京城一五五

齒科 橋本齒科醫院
京城南山町三丁目(京城電氣會社横入る)
齒科醫學士 橋本清次郎 電話二九二〇

新刊書御案內

書名	著者	定價
朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義	飯上賴吉	特七五
支那	中山成太郎	二五〇
カイゼルの裏面	宮家[illegible]譯	九〇
生	花袋	五五
ペン習字手本及書法	三浦浩東	九〇
露西亞語學楷梯	八杉貞利	一二〇
化學解法講義	池田清	一五〇
増補訂正二千五百年史	竹越三叉	特二〇〇
人心操縱法	香山哲人	五〇
綱目式地理概説	[illegible]	五〇
佐久間象山言行録	[illegible]北明	三〇
成功の道	岸堤隱士	一二〇
藝者の裏おもて	若水ますな	五〇
自白生活	瀧本植子	九〇
君[illegible]物語	[illegible]	
救護方面の施設研究		六〇
改訂支那全圖	東亞同文會	二〇〇
縮刷思出の記	德富蘆花	六五
哲學と文藝	桑木嚴翼	一二〇
鐵筋混凝土工學	阿部美樹志	二五〇
禪の立場から	鈴木大拙	八〇
法窓夜話	穗積陳重	一八〇
朝鮮總督府職員録	[illegible]	六〇

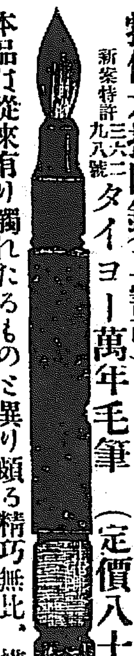
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城三二五七番

淑女畫報 五月號
書 皇后陛下の行啓 東宮殿下
▽飛行曲乘御見物の兩皇子殿下 ▽最近の梨本宮妃殿下及び兩女王殿下 △堀田子爵と小笠原子爵の家庭
學習院女學部の學生々活
各女學校卒業式と優等生
△新陸軍大臣大島中將の家庭 △花の如き名家の夫人令嬢と新婚記念 △遥著寫眞(三八六名……百名)
教室に於ける各宮殿下
二大連載物 忠臣藏もの語 風流義士 庭長小説家 須磨の家
讀物 給人訓話 樂觀の生活 △六人の娘を嫁にやる迄 △歷史に現はれた婦人の力 △代表的の上流四夫人 日蓮上人の婦人訓 自貞尼の思ひ出 △古褃利川の子供服 △日本の『家』と西洋の『家』 △村の出來事「花嫁花婿」 史譚 春の夜語り
定價三十錢 東京 博文館

小兒科 內科 專門
若槻醫院
京城旭町三丁目(元十全病院跡)
ドクトルメヂチーネ 若槻寬
電話二四六二番

日韓書房 新版報告
松崎天民著 人間世間 定價九十錢
穗積陳重著 法窓夜話 定價一圓八十錢
二葉亭 其面影 定價八十錢
スマイルス原著 井開十二郎譯 人生と努力 定價一圓二十錢
長編講談 佐倉宗五郎 定價六十錢
京城本町二丁目 電話一四五二 振替口座二一一五七番

食料品
よい品を安く賣る店
京城旭町
川西商店 卸部 小賣部
電話三六七番 振替京城一一



特價六拾四錢(二割引) タイヨー萬年毛筆 (定價八十錢)
新案特許三六二九八號
期間は六月十五日迄期間後は必ず定價に復す
本品は從來有り觸れたるものと異り頗る精巧無比、構造堅牢にして永く使用に耐へ穗首は取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁(開明墨)を入るれば端書三百枚迄は書き得るを以て携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ
▲替穗壹個金八錢 ▲スクリップ壹個金五錢
△地方取次販賣又は外交員希望の方は當代理部へ御一報あれ
△團體若しくは合同にて一打以上御求の方には特に割引の御需に應ず
發賣元 京城日報社代理部
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

○廣東省將來の形勢

香港來電に據れば廣東省の形勢は重大なるが如きも眞相を捕捉し難し同省の事情に精通せる某支那人の談に據れば同省の秩序は龍濟光が其の軍隊を率ゐて廣東を出發するに依りて初めて回復せらるべしされど愈々都督選擧の期到來せば異なれる三派の利害衝突するに依り更に一場の葛藤を惹起すべく各派其々自己の好む人物を薦擧し之れが爲め妥協甚だ困難ならんか(上海特電)

○英首相の兵制意見

秘密會議事＝一週間に五萬の兵員

秘密會として凝議しつゝありし英國議會は公報を以て該議事の內容を發表せり議事は首相アスクヰス氏の陳述を以て殆んど全部を充たされたるが首相は開戰以來陸軍の擴張海軍及び海運等必須的軍事事業を更說し次で徵兵問題に對する財政的關係並に同盟諸國に對する財政援助に就き陳述し更に一、兵士の服役期限を戰爭終結迄引延ばすこと二、共同兵を必要に應じ何れの部隊にも編入替へすること三、兵役を免除せられしものは免役期限の盡くると共に直ちに就役せしむること尚政府は就役せしめ得べき最後の增加部隊として昨年八月十五日年齡未だ十八歲に達せざりし少年が十八歲と爲りし場合は是れを徵兵令の下に募入すべきを提議すと述べ終りに政府は我が軍事的義務を遂行するに必要なる人員を未だ募集し得ざる事實を認め茲に言明する方法の下に未だ入隊の宣誓を爲さゞる既婚者に對し一、自發的に應募せしむる手段を講ずべし二、如上の努力を爲すに拘はらず五月二十七日までに彼等の中より五萬の兵を得る能はざる場合は政府は議會に向つて既婚者に對する强制募兵權の附與を要求す三、斯くて尚ほ五月二十七日より一週間を經過して五萬の兵員を得ること能はざりし場合は强制法に依り兵員を募集す、四、右の二項及び三項の方法は未だ宣誓せざるものゝ中より二十萬の兵員を集め得るまで有效たるべし云々(倫敦電報)

○米國對獨覺書發表

米國々務省は對獨覺書を發表して曰く交戰國は單に武裝せる故を以て武裝船舶を攻擊すべからず何んとなれば武裝せる船舶と雖も反抗の行爲ある場合の外敵對行爲を有するものと認むべきに非ざるを以てなり(紐育電報)

○在獨米人の引揚げ

在獨逸米人は國交斷絕を憂慮し續々本國に引揚げつゝあり(紐育電報)

○米國放資同盟擴張

最近ナショナル、シチー銀行の主唱にて設立されしアメリカン、インターナショナル、コーポレーション(米國放資同盟)は事實上インターナショナル、マーカンタイル、マリン(國際商船會社)の實權を掌握するに至り太平洋郵船會社をも其の勢力圏內とせるが右は世界最大の商船會社たるべしと稱せらる(紐育電報)

○敵機英沿岸に襲來

英國海軍省の發表するところに依れば二十五日夜ノルフナーク沿岸に四五隻の獨軍ツエッペリン飛行船襲來したるも眞面目に且つ大膽に陸上に襲來せるは二隻に過ぎず右の二隻の飛行船は七十個の爆彈を投下したるが其の爆彈手一名重傷を負ひ其の他の被害は未だ判明せず(倫敦電報)

○獨の三〇四高地砲擊

○漢口人心激昂

漢口方面に於ては日本より支那に對する新要求說傳はり人心爲めに激昂の極に達す(東京電報)

○滿鐵製鐵計畫

滿鐵が北京政府に運動中なりし鞍山站鐵山採掘權は今回承諾され滿鐵は于沖漢と合辦にて製鐵會社を同地に設立すべく資本金は先づ二千萬圓位と爲す筈なるが表面日本側の經營者には別個の名義を用ひ滿鐵は裏面に在りて其の實權を握るべき方針なりと(東京特電)

○入田議員辭任

廣島縣選出多額納稅議員入田德三郎氏は擧て德川議長を經て辭表提出中の處二十七日左の如く聽許の辭令ありたり(東京特電)

依願免貴族院議員　貴族院議員　入田德三郎

○淸羅鐵道急設

淸津、羅南間の鐵道は急設に決し近日測量に著手すべし(淸津特電)

○羅南活氣付く

新設師團將卒の來著と兵營建築工事の開始とに依り羅南は大に活氣を呈したり(淸津特電)

○東拓の竹林經營

新植後既に林相を作す

東洋拓殖會社にて經營しつゝある竹林は慶尙南道と全羅南道の境界線たる蟾津江沿岸

▲河東邑を中心 とし三里の間に所在し居れるが其の面積は新植八十一町稚竹育成八十一町合計百六十一町にして今春に至る成績を聞くに新植の場所は河東邑の對岸にあり運輸至便の地にて全面積の二十數町は國有地の拂下げ又五十四町步は民有地を買收し大正二年乃至三年の兩回に反當り本數五十株乃至七十五株を植付けたるものなるが最近迄一本の枯損なく大正二年植付の分は二年たる今春既に

▲林相を造り 極めて同附近の竹林生育に適せる事を證明せり其の收益は之れを十數年後に待たざる可からざれど利廻りは必らずしも不利ならず又新植ならざる竹林の育成地は蟾津江の河口に於ける海苔の採取及び漁業盛んなる爲め從來二三年目毎に伐採せられ荒廢に歸し殆んど稚竹の生長さへ困難なる土地にして會社にては買收後掃除伐施肥除草の手入れを行なひ稚竹の生長を保育中なるが近時著しく林相を觀るに至り大正六年より多少宛

▲竹材を供給 し得るに至るべく尙ほ會社にては施肥を適當に行ふは勿論當時盜伐を防ぐ爲めの監守を置き亦諸手入を監督する事務員をも駐在せしめ居れりと

○解氷後の出穀

鴨綠江解氷後同江上流より搬出さるゝ雜穀類は日を追うて增加しつゝあり目下最も多く市場に逆られつゝあるは蒲石河、長甸河口、沙尖子等よりする包米、靑豆、陸稻の出廻りにして各商店は今後出廻り尠なかるべき見込みを以て相場は依然昂騰を示しつゝあり(安東縣)

○金融と發行高

朝鮮の金融界は近時概して資金減少預金增加の趨勢を持し各銀行は手許金の處置に苦しみつゝあり此の現象のみより觀れば朝鮮銀行券の發行高は漸次收縮に傾むき減少せざるべからざる譯なるも事實は之れに反し鮮銀券は五月中旬に於て其の發行二千七百萬圓臺を上下し居りしが下旬に至り八百萬圓臺に上り一旬の間に百萬圓弱の增加を示し居れり之れ一般貿易並に金銀の移出及び國庫金出入等の關係より正貨の朝鮮流入を誘ひ此の夥しき增加を事實に示せるものと云ひ得べし

○本鄉中將著發

師團長會議の爲東上中なりし本鄉第十七師團長は廿七日午後九時南大門著列車にて入京停車場には立花第十九師團長井口軍司令官等出迎へ少時貴賓室に休憩の後九時四十分發北行列車にて任地奉天に向ひ出發せり

○京畿道の水產額

昨大正四年度京畿道管內に於ける漁獲高を聞くに其の種類は鰊、鰈、鯛、鯖、目張魚、鮮、鯉、海鰻、蝦、蟹、白魚、沙魚等重なるものにして內地人に於ては管內在住者の漁獲せしもの數量三萬五千百八十七貫價格四萬三千二百五十圓管外よりの通漁者の漁獲高は數量二萬四千五百七十貫價格二萬一千五十圓なるが前年に比し漁獲高減少せしは天候不順の爲めに依れり而して朝鮮人の漁獲高を聞くに管內在住者は數量七十三萬八千四百六十六貫價格二十四萬三千五百九圓にして管外通漁者は數量五萬八千二百三十三貫價格三萬八千八百四十八圓なり之を前年に對比するに著しく其の額を減少せしは天候不順の爲め不漁なりし結果に依れりと

○種鷄及び種豚の配與

京畿道本年度の恩賜授產事業として種鷄千五百羽種豚百五十頭を購入し各府郡へ配布することゝなりたるが是等は何れも各府郡に於て養殖し夫々希望者に配布する筈なれば茲數年を出ずして在來鷄を改良し道內一般に普及するに至る可し

○振替貯金激增

郵便振替貯金は利便にして簡易なる爲め朝鮮に於ても其の加入者並に受入れ拂渡し共に著しく增加し居れるが其筋調査三月末現在を見るも加入人員三千二百二十四人にして之れを前年に比すれば五百七十八人二割一分を增し現在金額五十五萬一千八百六十五圓に上り約十八萬圓五割一分四厘の激增を示し居れり

○隊署長恒例會

二十七日午後一時より京畿道警務部宣化堂に於て京城府內各隊署長會議恒例會を開きたり

○去月地金買收高

朝鮮銀行本支店の買收に係る各地砂金の三月中に於ける總高は百八十二貫百八十二匁二分にして其の金額七十七萬五千三百四十四圓なるが之れを前年に比すれば二十二貫餘十一萬五千圓の增加を示し而して一月以降の累計は六百八十貫五百三匁九分其の金額二百五十四萬九千二百十六圓八十錢に上り之れを各支店別の移出高とすれば左の如し

本店七三四、一五五圓▲仁川一二三、〇五一圓▲平壤四〇七、八二三圓▲元山一四九、四五七四▲木浦九五八圓▲群山一、九七〇圓▲馬山一三一八九三▲大邱六九〇圓

仁川支店扱ひ高の頗る多きは平北雲山金鑛の產金を取扱ふ故なりと

○醫師開業試驗

既報朝鮮醫師開業試驗は四月廿日より施行中にして第一部受驗總人員は二十七名なりしが採點の結果內地人六名朝鮮人九名合格せり第三部試驗は本月廿九日と五月一日の兩日に施行の筈

廣梁灣行

勝村生

○水と石炭とが豊富な上に運輸交通の至便なる鎮南浦は將來工業地として發達すべき運命を有して居る現に三菱鑛山會社でも製鐵所建設計畫の步を進めて居る猶遂安金鑛の粗鑛は從來リバープールの精錬所に送つて居つたが今回久原の精錬所で引受けることゝなり中村組は數臺の運搬自動車で遂安から粗鑛の運搬を爲ることに爲つた。

○久原精錬所の煙突から噴き出す煤煙に付ては大分問題も有つたが分析の結果亞硫酸瓦斯の含量一萬分の一と云ふ極めて少量なる爲め市中に毒を與へないと云ふ事に決定した相だ殊に南浦は西風が多く精錬所は市街の東端に在るので更に安全であると云つて居る

○七時三十分發列車で平壤に歸る本田府尹を訪ふ病氣で龍岡溫泉に靜養中との事實業協會を訪ふと川上君がツクネンとして居る商業會議所の設立認可の無いのを痛くコボして居る

鎮南浦も同樣とのことである○平壤は道路の立派になつた事街路樹の植ゑられた事などで一年前とは見違へる程になつた春雨復襲ひ來たらん樣子に見物も訪問も大略にして歸京の途に就いた(終)

人事消息

▲矢鍋永三郎氏(元山稅關長)　二十七日朝歸任

▲山本鼎雄氏(元山殖工銀行支配人)　二十七日夜入京山本旅館へ

南言北語

梁士詒に西山の邸宅から手を替へ品を代へて引つ張り出された段祺瑞も責任內閣とか云ふもの丶總理になれば餘り腹も立つまい▲各總長を從へて袁總統に謁しイヤ御苦勞との御挨拶は有り難かつたに違ひない▲其れから扱て諸君責任內閣はとやつた處は振つて居る▲が何うも其のお顏ぶれが餘り振つて居たいのはお氣の毒な樣な顏もする▲縱から見ても橫から見ても褒たくて仕樣はないが何うも殘念だ▲と云ふのは段總理と孫寶琦とを除いた總長連は遺憾ながら殘念ながら皆第三流に屬する連中である▲何と褒たくとも閣臣資格共に申分ないとは云へぬ▲大根が臘次郎の眞似をした處で出來ないから致方がないサ▲其れから鳥渡色分けを見ると却々面白い段氏入選の苦心も見えて居る樣な氣もする▲第一御大の段氏は親獨派で孫財政も親獨親米と云ふ處▲金農商と曹交通、王內務は何れも日本留學生の出身者▲殊に金農商と來たら頗るの才物で先に袁總統の密命を帶びて日本に來た時などは▲大金を散じて革命黨を買收し日本政界の一部に迄手を延ばして世人の注目を惹いた男だ▲要するに新內閣はたしかに新人物を登用した點に於て最も特色を發揮して居るが危急の國務を處理する點に於てはハテね－▲アスキス氏が我英國は上下一致同心協力全英國人を擧げて英國の爲めに戰つて居ると擧國でコツンと卓子を叩いたと思ふと▲愛蘭ではヒヨックリ賣國奴が飛び出して而も敵の軍隊を案內して來たなんて飛んでもない▲今に始めぬ獨逸の兒雷也がパッと毒瓦斯を吹いて置て何處へ來るかも知れぬ▲空許り見て居た英國民は今度は足許と空を五分／＼に注意せねばならぬ▲既婚者の徵兵問題なんぞで騷いで居る時ぢやあるまい

口繪泉亭前櫻花

大塊

花天異吾れや迷ひの色眼鏡

花爛熳社頭に響く鈴の音

花爛熳中に小川のちよろ／＼と

大痴

花爛熳上戶の人は交る下戶の人

花天異人さま／＼の眺め哉

京日案內

普通

●女兒生後三十日血統正しく身體壯健なる者都合上他に遣りたし愛子家を望む　姓名在社

●此狂犬病豫防注射を施し置けば狂犬病に罹らず詳細は　京城狂犬病豫防注射所　六七五番　105

▲寫眞修整技師二名入用希望者來談又は半身像の見本を送れ　安東縣　菅原寫眞館　102

◎弟子入用　市內に保證人を要す　京城本町一丁目　千代田號印舖　101

◎友人二十七歲身元確實能文中等敎育有り性質著敏才商業經歷に富む就職希望す　京城本町郵便局留置日生　300

△朝鮮各道地圖の一冊萬△各一道十錢　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店　236

△讀下宿　現今營業中の下宿都合により格安にて讀る希望の御方は來談　京城長谷川町一一三　中京館　298

各宗敎經類△全部取揃へ有之候　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店

◎貸家　煉瓦造二階家低賃にて貸す　京城長谷川町五八番地　ゴルシャルキ　290

◎古本買入▲御報參上▲地方送金　京城本二　電話八六五　森田文光堂書店　17

◎明治町フランス敎會正門前　◎電話二五九五番　▲ほねつぎ▲うちみくじき治療　荒川仁壽堂　33

◎古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目(明治町筋)電二六三六番　野村書店　16

◎玉突場　玉突臺二臺及び附屬品一式格安に賃貸す御望の御方は本町二丁目小林電話九五四番　287

番外

治字　茶　淸心堂　電話二十五番振替京城三五一八番　104

◎事務員一名傭度し　但し確實なる保證人を要す　黃金町一丁目　岡田辯護士　103

開城人蔘　高麗人蔘　及御茶用粉末販賣大賣出し　御菓子用人蔘　京城黃金町　李性有　299　城二丁目九九番地　共濟堂大藥房

礦物定量分析　京城太平通二ノ一二九　坂元分析所　電話一三四四番　295

簿記係二名入用　但し保證人を要す　仁川本町四丁目　米穀貿易商淸酒釀造業　吉金商店　294

鑛物分析　正確迅速　太平町二の二三〇　朝陽分析所　278

●はねつぎ(うちみくじき)等　一切の治療御依賴に應す　明治町　柔術道場　15

內科兒科　專門胃腸呼吸器病　京城本町二壽町元中島病院跡(入院隨意)　山田醫院　電話二八〇番　23

皮膚病花柳病　專門　京城永樂町一商品陳列館坂の上　須古醫院　電話二一〇番　25

內科小兒科　大和町一丁目(日の出橋下ル)　爲春堂醫院(電話九一八番)　院主　古城俶吉　26

國產獎勵と朝鮮牛

朝鮮牛の特徵

▲見落す勿れ畜產界農業界▼

▲性質溫順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし

▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむる必用なし

▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る

▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運搬の特約と關釜間に於ける輸送は汽船によりて迅速確實を以てせり

▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候

活牛移出問屋　上杉古太郎商店　釜山鎭驛前　電話一〇二七番

人體に必要なる燐と鐵との効力を極度に發揮せしめたる

滋養大關　次亞燐

特効　▲神經衰弱▲消化不良▲營養不良▲發育不全▲精力減退▲老衰虛弱

定價　大瓶貳圓也　中瓶壹圓參拾錢　小瓶八拾錢　▲各藥店にあり

本舗　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛

外科　內科　花柳病皮膚病　島崎病院　京城壽町(本町二丁目入)　△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

▼引越荷物　安くして責任安全に輸送出來ます　患者用寢臺車　京城山町三の廿九　電話二九三番　堀運送社　280

內弟子入用　十五歲より十八歲迄琵琶修得希望の女子市內身元引受人を要す　京城櫻井町一丁目一一七　筑前琵琶師　村上桂秋　277

季節と盆栽鉢揃ひ　金華園　盆栽種子苗　▼太平夜市へ御越しの方は是非一度御觀覽被下度支店御安價販賣仕候　花卉　276

▲藥湯　眺望佳空氣淸潔保養等に是非一度御出下さい　諸病にきく手輕な料理勉强致します　渡迎運線兵驛前(電話三二番)　▲龍山溫泉　264

魔法瓶中瓶取替　艶修繕一切　京城本町一丁目　高木旅行用具店　244

年金恩給　信用短期無保險確實融通　地方照會あれ迅速詳報　京城武橋町二三番地電話二八三番　京城日報社北方一丁　國江商會　242

▲讓る　京城七十七番　▲御望みの方は左に　龍山漢江通八　電話三五五番　富士用達部　238

▼空氣輪新車　▲貸金普通同樣▼當組特色親切本意　東京荷著挽子日人　本町三永樂町入　電話二六八九番　岡本組　車帳場　216

▲龍山むしぶろ　▲かつけ▲りよまち▲其他諸病に特効あり▲試浴諸病を全治あれ　▲婦人ひゑしよ▲子宮▲ち　▲是非一度御　▲むしぶろ　72

無害で一番よくそまる

しらが赤毛ぞめ

安全コクオー

特長　まげず　かぶれず　はげず　てまいらず　まつくろに　よごれず　つやよく　そまる

東京、大阪、各衛生試驗所試驗濟

各藥店　全國雜貨　發賣

●大連汽船南進計

汽船會社にては將來南洋航路を開始するの計畫成り漸次南洋に延長する方針にて大連青島航路に第二十……香港廣東ジャワ、スマトラ等南洋に前進すべしと尤も現時營業中の大連青島上海航路は充分の收益を擧げつゝ……

奉天獨立の報盛んに傳へらるゝも安東縣は何等の動搖を見ず頗る平穩な……されつゝあり(安東縣)

●錠前を切つて

殷手縣神……

●老鮮婦の投身

京城西大門町二丁目李相淳母李召史(六四)は十數……

●義州通の小火

二十六日午……

●藁繩で縊死

京畿道龍仁郡南四面鳳鳴里鄭萬錫(四三)は二十二日……悲觀して右の仕業に及びたるものなり

加五里の溪流

水原の春 (4)

有望な果樹栽培 胴枯病の本家爭ひ

水原名物の總督府勸業模範場は、また朝鮮名物の模範場である。創設は明治卅九年の春四月であつたが、爾來引續き朝鮮の農業を改良發達せしむる爲めにあらゆる調査研究を行つて居る。先づ普通の農事から棉花栽培は申すに及ばず、他に

□園藝蠶業畜產等各方面に渉つて研究した結果を公表して、半島に於ける總ての農事經營者に敎へて居る。それで朝鮮に於ける農業家は初めて事業を創始する人も、豫て事業を經營中の人も、多くは此處で調査して行くやうである、役所の所屬地百七十五町七反餘歩の間には田あり畓あり草生地あり、沼あり山林あり、凡そあらゆる農業上の研究が行はれて居るが

□役所の周圍には又牛山羊羊豚、鷄、七面鳥などを飼つた畜舍もある。また新らしい牛乳で牛酪を製造する處もある。また西湖に沿うた麗妓山には役所で試みた模範植林の樹立が美しく生ひ繁つてある。吉野櫻に圍まれた建物の間に高い揚水器の風車を見ながら鏡技師のおはなし拜聽に出かけると、技師はお得意の園藝に關する談を試みた

來、また

□朝鮮の果樹栽培に付き次の如く語つた。朝鮮に於ける果樹の栽培は御承知の通り如何にもよく出來る。內地あたりに比較すると非常に面白い成績を擧げて居る。併し將來果樹園經營者の注意を要する事は餘り初めから利益のうまい計畫を企てぬことである。餘り計畫がうますぎると將來生產過多を呪ふやうな場合に立至らぬとも限られぬ、從來のやうに價格も高く收穫も多いといふ見込みを有つて居ると

□後に至つて後悔する事があるかも知れない、併し將來販路の擴張は如何樣にもなることであるから、場合によつては朝鮮の苹果を內地九州あたりに供給するも面白からう。中には悉皮事が母國の產業を妨げるなど主張する人もあるやうだが、年々夥しく朝鮮に移入する紀州蜜柑に對しては、寧ろ正當防禦ではなからうか。兎に角大に發展したきものである。併し朝鮮に於ては、一面腐爛病

□棉蟲などの如き恐るべき害蟲も尠くない。害蟲の蔓延は年々其の勢ひを增加するやうで、殊に手入れの屆かぬ廢園などが出來ると、その影響は非常なものであるから注意を怠つてはならぬのである、それに昨今恐るべきは、栗の胴枯病といふ奴で、これは內地でも一度問題になり、米國でも目下非常に困つて居る樣子で、中にはその爲めに

□栗の栽培を廢止した處もあるやうである、胴枯病は米國では日本が本家だと主張し、日本ではまた彼地が本家だと頑張つて居るが、恁麼本家爭ひにはどちらも本家になりたくないものと見える。朝鮮では殊に栗の樹が多いから、昨年平壤で發見した際にはそれ〲一本も殘さず伐り倒して消毒したが、全くこれには弱つて了ふ、何うも果實は害蟲の驅除が心配なものである(つゞく)

●米婦人名譽の 月桂冠

朝鮮にて開業

本月十七日より二十二日迄東京、熊本、京都に於て執行せし醫術開業後期試驗に及第せし者の中女醫七名名譽の月桂冠を得たるが其の中に北米合衆國人アール、ヴヰルス、アンダーソンなるもの一名ありたり因みにアンダーソン孃は曾て朝鮮に在ること約二十年朝鮮に醫師を開業せんと試み目下江原道春川府內面永洞院に居住せり(東京特電)

●女成金に結婚の申込が多い

朝鮮から寫眞を添へて

『大阪の女成金』として過般本紙に紹介した大阪市西區立賣堀北通六丁目朝鮮貿易の織居中村照子(三)女の許へ昨今は毎日のやうに

▲書留や封書で結婚の申込みがある、つい兩三日前にも東京中央局の消印ある一通の封書が舞込んだ早速開封して見ると『自分は東京のもので大正二年東京帝國大學文科大學出身のもので現在は日本〇〇株式會社運輸課に奉職してゐるが〇〇氏の紹介もあり旁々一度御拜顏の榮に接し度く最も自分の希望は妻として迎へ度き考へなれど場合に依ては

▲養子として迎へられても苦しからず』と厚顏しい文句を長々しく記し別に興信所の身許調書と履歷書に寫眞なんかを御叮嚀に添へてあつたが之れには照子も其の厚顏に開いた口が閉がらず返事もせずに其のまゝにしてあるが斯んなのは未だ優しい部で朝鮮や臺灣あたりから寫眞を送つて來たりした中には

▲是非一度見合をして呉れとさへ申込んで來るものがある、兎に角本人の照子は飽くまでも獨身で押し通す考へであつたが何うしたものか最近になつて再婚して見度くなり內々養子を搜してゐるそして候補者は目下のところ八人ばかりあつて選擇中であるが白羽の矢は果して何れに向ふやら(大阪)

●名將の遺物を種に詐欺

平北義州郡州內面西湖洞生れ漢文敎師崔瑞鴻(三)同郡威化面上端面朴禹欽(三)同道鐵山郡站面柳浦洞金秉欽(三)京城益善洞韓錫範(三)京畿道富川郡大阜面下洞代書業林亮洙(二)平北義州郡古城面龍山洞崔善玉(三)等の詐欺事件は豫て京城地方法院に於て豫審取調中なりしが此程終結し前記中瑞鴻、亮洙の兩名は免訴放免となり他は何れも公判に附せられたるが右は崔瑞鴻が所持し居る僞造物にして約二百八十年前の韓國名將林慶業が淸の太祖より賜はりたりと稱する書面及び地圖を材料にし一儲けせんことを企て善玉と共謀して大正二年一月頃來京して程好き賣口を搜したるも法外の高價に吹掛けたる爲め買手なきより詮方なく金世長なる者に擔保として差入れて四十五圓の旅費を得て一先づ歸鄕し金欽は前記の事情を知り右の品物を以て更に一儲けせんと前記韓錫範等と共謀し忠北忠州の林濟弘林守鉉等に壹萬圓にて賣付けんとせる事發覺せるものなりと

●暴ばれた牛 驚いた人

蓬萊町刷新炭商李文根(三)は二十五日午後四時半頃牛車を牽きて京城黃金町一丁目電車交叉點附近を通過の折柄疾走し來れる電車に驚きて該牛は暴れ出し附近の掃除に從事中なりし衞生人夫黃金町五丁目居の金九成(一)に衝突して氣絕せしめたる騷ぎに本町署交番の警官驅付け最寄の上野醫院に擔ぎ込みて應急手當を加へたる爲め生命には別條なく李文根よりは治療代を出して示談事濟み

□初夏の裝ひ

京城の上流婦人と花柳界の好み

花時の此頃から新綠の初夏にかけての婦人の裝ひ、主として京城に於ける上流婦人並びに花柳界の好み——といふ樣な事に就いてそれ〲專門家の話を聞いて見た、京城には大體關西の人が多いけれども、上流には東京又はその地方、その人と同じ趣味を持つた人が多い、その關係からでもあらうか、衣類調度の流行は東京のそれに倣つてゆくやうな傾きがある、東京邊りでは花柳界が流行の魁をなして一部の家庭に及ぼしてくる樣だが京城では全く之れと反對で却つて花柳界が上流の婦人に刺戟されて流行を趁ふ氣味がある、然かも從來は朝鮮では一般家庭にしても花柳界にしても非常に派手好みであつた爲めに東京邊では

朝鮮から歸つた婦人連の

服裝を一見して朝鮮歸りと判る位であつたが昨今ではその反動か、著しく地味に變つて來たやうだ、それで、過ぎに華美な着物にし意氣を尙ぶ此の花柳界ではたとひそれが極く季節々々に合せものにしたところが流行に遲れるやうな事はない、之れに較べて上流婦人の方では金に絲目はつけず確かりしたものを望む傾きがある、花柳界の樣に——

胡麗化し物や擬ひ物は

さすがに用ひないけれどもそれでも成るべく意氣がゝつたものが喜ばれるのは事實である。去年は共進會が有つたし、タングステンで景氣だつてゐるので花柳界なども此の方面にも景氣がよく呉服屋などの賣り行きだと思つたが何ういふものか餘り例年さ大差はないと言つてゐる、一般の家庭及び花柳界を通じて今年は

色の薄いものが流行つて

來た、これは染料の關係もあるだらうけれども一體に衣類に對する一般婦人の嗜好が向上して來たものと見られる。たとへば御召の如き堅縞に替紬を裏はしたものなどである、色合は青磁、或は茶がゝつた淡色が非常に多くなつた。金紗御召なども一寸して大正式に似たもので本年の流行界に革命を興したのも是非である、此の外に單衣羽織としては昨年から引續いて紋緞紹が多く色合としては花色、紺色などが多く用ひられるさうである。

●北鮮に牛疫發生

本月初めより國境鐘城、慶興、會寧各郡に牛疫十六頭發生したるを以て當局者は極力防疫に努め居れり(淸津特電)

●溝の中で格鬪

警官賊を取り逃がす

廿五日午後八時頃釜山土城町交番詰の巡査が巡回の爲め中島町板橋附近を通行の折柄恰も板橋に沿ふ土手に一塊の黑き影蹲り居て如何にも不審なれば何物なるかと誰何せしに其怪しき影は俄かに飛び出し橋下を流るゝ溝渠の中へ飛び込みたれば警官も續いて飛び込み取押へて繩を打たんと爭ふ中警官は岩角其他にて肩部、腰部に打撲傷を負ひ手を緩めし爲め賊は其隙に乘じ溝上に這ひ上り暗に紛れて逃げ亡せり

●航行中に溺死

京畿道廣州郡東部面拜謁尾里前の漢江岸に溺屍體あるを通行人が發見し德沼里派遣所員出張して檢屍したるに全身紫色に變じ時日を經過し居り取調べの結果同人は楊州郡葛山面揚根里朴商範(六)にて本月九日午後四時頃小舟にて漢江を航行中誤て墜落して溺死したるものと判明し屍體は家族に引渡したり

●美貌に迷ふて

金品を捲き上げらる

京城黃金町一丁目居妓生李梅紅(三〇)は美貌なるを利用し本年一月三十日以降四月二十日頃迄に高陽郡漢芝面の李鍾鎭(三)を引き込み前後十數回に現金數十圓衣類簞笥机等合計百十

●委託品を橫領

黃海道安岳郡銀紅面李容儀(三五)は京城貫鐵洞宋顯子より自宅附近の柳淑子に送附すべき現金一百圓並に書類一冊の依託を受けたるを奇貨となし內金七十圓を橫領し三十圓丈を柳淑子に交附し又三月十七日より公平洞の宿屋美德鄕方に止宿し宿料等二圓七十錢を踏倒し逃走したる爲め鍾路署に引致取調中

●營業停止を命ぜらる

京城新町遊廓大壽樓事山本强之助は或る犯罪に依り目下其筋の取調を受け居れるが同人方は營業取締規則第十四條に依り本月二十七日より向ふ二十日間營業停止を命ぜられたり

●鴨江の密漁船

鴨綠江流域にては昨今白魚の盛漁期に入りたるを以て例年の如く支那側より密漁船多數出沒しつゝあり新義州警察署にては龍巖浦署と協力し內地人及び鮮人從業者を保護するの傍ら密漁船の取締を嚴にすべく所轄警備船を鐵橋下流一帶に配備して警戒しつゝあるも支那人の密漁者等は巧みに出沒し一兩日前にも義州署にては密漁に使用しつゝありし支那人の袋網二十張を取押へたりと(新義州)

●小女竊盜を働く

長崎縣北松浦郡吉井村當時京城本町四丁目按摩業濱谷丈八二女たま(一三)は十一歲の時より繼母の手にて育てられ尋常四年迄修業し家業の手傳ひ中なるが本月二十一日午後三時頃本町巖松堂書店にて店員の隙を窺ひ雜誌五冊(六十八錢)を倫同日午後四時頃には同店にて雜誌六冊(七十六錢)を竊取したる爲め本町署に引致さる

●無期懲役は不服

支那山東省沂州府生れ住所不定の土工人夫張青山事王有顯(三)は外一名と共に咸北鏡城郡永寬面石水洞に宿泊中昨年十二月二十七日夜兩名共謀し宿主なる李秉鍚夫妻を殺害して金品を强奪せんと企て同家の斧を以て同夜午前二時頃睡眠中の兩名に切り付け全身數箇所に重輕傷を負はせたるも死に至らざりしが犯人等は一物をも强奪し得ずして逃走したるが其後遂に逮捕され王有顯は咸興地方法院にて無期懲役の判決を受けたるを不服として京城覆審法院に控訴申立てたり

●姦婦を縛り上ぐ

忠南天安郡南面生れ京畿道楊州郡檜泉面檜岩里居金正化(六)及び其長男金甲鳳(三)の兩名が本年舊二月十六日深夜正化の妻の兄羅春寶の妻金姓女が同洞の鄭溜化と密會し居るを突止め徐方の扉を破壞して侵入し火鉢を鄭溜化に投つけ金姓女を捕へて藁繩を以て兩手を縛し自宅に連れ歸りたる事件は二十四日京城地方法院にて金正化は懲役六箇月金甲鳳は笞九十の處分となりたり

市民の大敵

□詮ずれば各自の損□

□三千圓の蠅退治費□

都市の改良には種々な方法があらうけれども要するに吾人の生活して居る場所を住み宜い場所とすると云ふことは重大な要件の一つである。其處で京城府では三十三萬九千餘圓の經常額の中に十四萬一千百四十三圓と云ふ巨額の汚物掃除費を編入して居る。

◇漸く今日の淸潔

京城の市街が漸く今日の淸潔を保つ爲めに年額十四萬圓の掃除費を拂つて居るかとおもへば却々容易のことでない而して其費用は皆府民の負擔である。道路を汚したり又は不攝生をして傳染病患者を出したりすることは詮ずる所府民各自の損失に歸すると同時に又府といふ大家族が蒙る迷惑は更に大きいものであるそこで京城府も年々改良に改良を加へて府內の衞生施設の完成を期した。然し昨年からは從來に比し約一萬圓近くの減額を得したるに拘らず

◇成績反つて擧り

殊に同年三月からは學校組合會議員の田中半四郎氏を衞生課行部の囑托として實際上の衞生事務に當らしむることゝなつた。そして最初に田中氏が試みたのが蠅の驅除であつた。田中氏は蠅を驅除するを何よりも急務であるといふので任に就くと同時に着手した。田中氏は先づ光熙門外の塵芥捨場の中に飛込んで賑がる人夫等を鞭撻して蠅退治に從事した

◇時の立花總長が

視察して地面も見えぬ程眞黑になつた蠅群を見て吃驚したといふ話がある。併し田中氏の努力は空しからず昨年の夏から此方面の電車の蠅が著しく減少した事は前回も記した通りであつた。爾來滿一箇年間蠅退治の研究に沒頭した甲斐あつて田中氏は其實際的の知識を得たといふ事はあるを。然し一人の力で無際限に繁殖力を以て居る蠅を退治する事の出事ないのは申すまでもない。そこで今年は

◇擧市一致蠅退治

を行ひたいと云ふ所から田中氏は府の當局者に相談して蠅が幼蟲で居る間に退治する方法を講じたいと云つて居る。其の爲には先づ學校の生徒に蠅の恐る可きものなることを知らしむるため近々府內の各學校を巡回して講話を爲すことゝなつて居る。京城府も亦本年度から三千圓の蠅驅除費と云ふ新費用を設けて大々的に蠅退治を行ふことになつた(つゞく)

優等清酒 一鶴

發賣元 京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二〇六番

各國時計 自轉車 蓄音器 直輸入卸商 京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 喜多金光堂 振替口座七八二番

鐵ト浪平板 直輸入卸商 京城府南大門通り三丁目 (天) 福田又京城支店 電話一二二番 振替京城二九二番

●毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

ダリヤとカンナ

本園のダリヤとカンナの種類の豊富なるは既に定評あり栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す

京釜線烏致院 朝鮮興農園 電話二七番 振替京城三三七番

タングステン高價買入れ仕り候

□□□重石鑛(十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候)

□□□優良なる(七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候)

□□□重石鑛主(にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候)

□□□弊店は(唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候)

京城貞洞二十五番 ジョージ、アーレン商會

春捕のうなぎ毎日澤山入荷

龍山元町(漢江河岸) うなぎ すつぽん 問屋 宇田商店

平壤港町(大同江河岸) 川魚卸問屋 宇田支店 電話二十五番

金牌受領 ポケット入 氷砂糖 定價 大五拾錢 小

製造元 大阪市住吉橋北詰(電話西二〇〇四番) 三木治助商店

特約一手販賣 大阪淡路町一丁目 小林三玉堂

大邱販賣店 甚川商店

內科胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話(長)三七二番

千生瓢 (196)

須藤南翠作 筒井年峰畫

對陣（一）

大阪城の結構は次第に整備して、要害に於て天下第一の名城たるばかりでなく、結構の雄、粧飾の美に於ても、今は其匹儔を索めることの能きない程、善盡し美盡したる殿觀となつたのである。

秀吉の茶三昧は、信長から繼承だ物好であつたが、近來は萬の事已がむのまゝになるので、次第に其道に深く分け入、本丸の後園に、美しい山吹流を設けて、其處に瀟洒な數寄屋を營ませた。この宗匠は千宗易利休齋に命じて、十分に詫を極めさせたので、壁の乾くのを待ち兼ねて、秀吉は早速囲開きの茶を催し、名物の珍器を列ねて、風流の限りを盡くしてゐた。

薄茶にうつゝて、利休が鮮かな點前を、感に入つて見惚れて居る時、花洞口をほと／＼うち敲くものがあつた。利休は少し耳を欹てゝ、稍や其方をふり向く時、

『宗匠、ちよと御執次願ひまする』と、嗜しやかな聲が聞えた。

『何方おざりまする。其處お開けなされませ』

『左様なれば御許し被ります』と、慇懃に斷つて、靜かに花洞口の襖を開き、其處に平伏したのは、御小姓の石田佐吉三成であつた。

秀吉はそれと見て、至つて氣色は麗しかつた。

『佐吉、何ぢや？』

『唯今尾州表より急使を以て、注進の狀が參りました』

『入道勝入齋からの狀か』

『はつ、御意おざりまする』

『待つてゐた。苦しうない。これへ出せ』

『然らば御免下し置かれませ』と、三成は携へた立文を、利休宗匠に渡した。

秀吉は利休の手から受け取つた書狀を披見して、

『うむ。好いわ。速かに出陣の仕度。豫ての陣觸に隨ひ、直樣先手を繰り出せ』と、即坐に命令した。

三成が意を領して立ち去つた後で、接伴の織田源五郎長益に、其書狀を示した。源五郎長益はそれを一見するうち、見る／＼色を變じて、

『鬼武藏と稱ばるゝ程の長可、また戰場達者の遠藤但馬守まで、脆くも打ち破られたとあつては、遠三の兵が鋒尖、なか／＼侮り難うおざる。能く／＼御戒愼あるべき儀と存じ申す』と言つた。

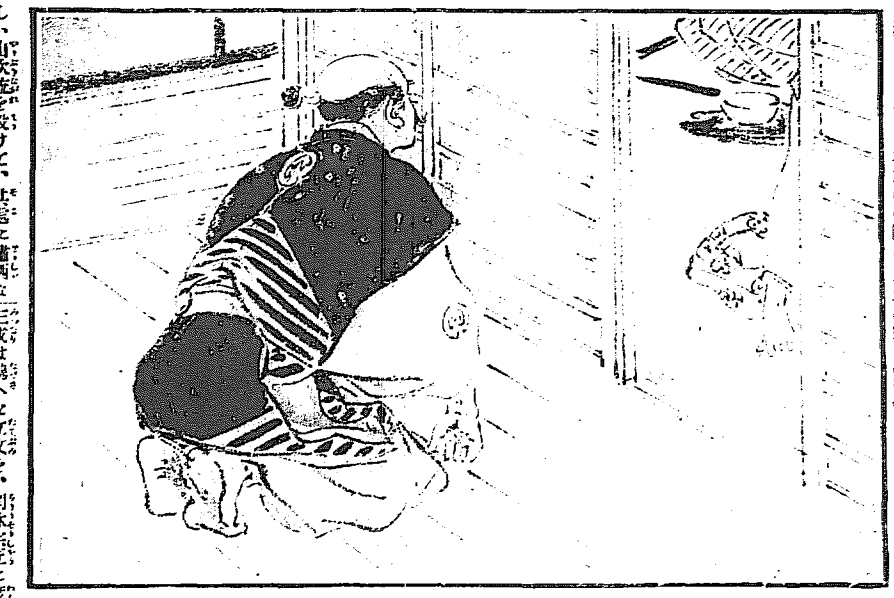
『穩まじき戰をすればこそ、敵が機に乘るのでおざるわ。今自身大軍を動かして馳せ向ふに、何程の事おざらう。追付け中將殿を此れへ御供申して、緩々と茶を獻じ申さう』

秀吉は事もなげに打笑つて、蹴茶一服啜み干すと、やがて其座を立た。

『宗匠、暫時中座するぞ。織田德川の烏合勢、一蹴りに蹴散らして、十日の中には重ねて此席を開かう。能く掃除して待たうぞよ』

斯う言つて庭闊に出で立つと、えい／＼聲を揚げて四股を踏み、入口開いて呵々と笑ひながら、直樣表へ立ち歸つた。

是れは三月廿一日の事であつたが、常に機敏を尙び、懸軍萬里目にも止まらぬ神速を以て、今まで敵の機先を制し常に奇勝を獲つゝあつた秀吉が、何故に出馬の期を引き延して、德川家康の淸洲城に入つてのち、後るゝこと九日にして、初めて大阪を出たのであつたかは、秀吉ならぬ者の敢て知り得る所ではない。兎にも角にも近く根來紀州には、隙を窺ふ敵がある。海を隔てた四國にも侮り難い明智の縁類がある。毛利は今は味方ではあるが併しながら心を安んずる事は許されぬ。されば、毛利とこの盟約を堅固にする爲に、新に吉川藏人廣家、毛利藤四郎秀包の兩人を人質に取り、備前の宇喜多、淡路の仙石、岸和田の中村、加賀の前田、越後の上杉に使者を送つて、嚴重に抑へさせ、愈々四方蜂起の憂慮のないのを見定めて、遂に馬首を東したのであつた。此間の緻密な苦慮を知るものは、其手に愛翫せられる茶釜ばかりであらう。



日本一

◉深林石窟の大蜘蛛◉ 岡山縣英田郡本村大字眞神の石崩れといふ深林は人跡稀な闇境林で其の山中の石窟に古來一疋の大蜘蛛が棲んで居て、そして兎や雉子を捕つて食つて居る處を時折り村民が見受けることがある山の所有者遠藤順治郎氏の語る所に依ると胴の長さ四尺餘あつて丁度疊一枚の廣さほどで足の長さが四尺あまり兩足を擴げる時は一丈以上の面積がある全身炎黑を帶び一見身の毛が慄立ほどであるけれども嘗て人に害を加へたることなく人々山の主と稱へて誰も顧るものもないが英田郡警察署長は所轄駐在所巡査をして實地調査をなさしめたさうな。

日本一 創業三百有餘年
清酢 マルカン印
各地到る所の西洋酒店に販賣せり
特約店 日本醬油株式會社出張所 京城太平通二丁目 電話二四五番

新刊紹介

▲葉（九二）十八錢大阪市東區今橋五丁目一四 翻西閣發行
▲ミツワ文庫（四月號）東京市日本橋區橘町丸見屋商店
▲洪水以後（一一）十一錢東京市神田區裏神保町一〇 元社
▲東華評論（一の一四）十錢北京東城燈市口
▲婦人週報（二の一七）四錢五厘東京市牛込區ゆき谷田町二の一七
▲安東商業會議所月報（二月號）商況、物價、金融、運輸の各項に分ち統計を基礎として大勢を記述せり（安東縣安東商業會議所）
▲英語精習（五月號）多年精習主義の同誌は成る可く從前の自習し易い雑誌に編輯せり（十二錢東京市芝區南佐久間町一の一英語社）
▲中學生（創刊號）生の學賀多ら興味多き記事が充たり其の二三を擧ぐれば日く、知られざる世界へ日く、我邦は英でも日く、日本語の靜と英語の靜（一冊十五錢東京市麹町區富士見町研究社）
▲學生（七の五）本號は第六週年記念號にて紙數七百五十頁空中の征服、エネルギー說と人物の進化、若學生の最大覺悟、產業革命時代、高等學校入學試驗部の外本號より學生新聞一頁を加へ附録として前田、井上、建部、高楠、姉崎各文學博士の（以下略）
▲京都市立記念動物園一覽（非賣品同園）

讀者の領分

京城では活動寫眞を見に行つても男女別席だから僕等の樣な鷄持ちの者はほんとに困る。一所にでも座したらあなたはこちらで、お茶子の黑い目玉を受けて遠く引き分けられるそれとて一人では面白くなし何とか早く男女同席か家庭席を設けられてほしい（新丹帽生）

▲大邱には產婦人科專門の開業醫がないから福岡地方及び釜山方面に行く產婦が澤山ある（一婦人）

▲從來商取引上其他の爲め朝鮮各地に出張せらるゝに當り宿泊料の高價に過ぐるは一般の定評にして之が改良上に付き種々意見を有せらるゝ方も有之至極御同感の儀と存じ候に付無用の費用を省くの目的を以て僕等朝鮮左の主要都市に對し旅館を指定し宿泊料を一定し且つ茶代の授受をも相廢する事に契約を締結して是非實行致し度候御贊成の士は無之候や一般の輿論に御尋ね致する次第に候京城、釜山、平壤、仁川、大邱、群山、木浦、馬山、淸津、元山等數箇所の都市には殊に必要を相感じ申候（一大阪の一商人）

▲藝術に於て擢されたる（）（）會社非常に盛大であつた茶菓酒肴の接待等能く行屆いて居つたので皆な滿足の體であつたが唯一つ憤慨に堪へぬは幹事が部下に對し餘りに無情な行り方や甚だ見下げた口振りに少年部の者は皆怒つて居た折角の樂みも憤りの種となり不和の基とならねばよいが（魔神の涙）

▲此度數年振りで鮮滿の各都市を一々視察しまして ヨボの長煙管とか鐵道附近の山が靑く綠んじてる位の事には別段驚きませぬが商業の不活氣と內地人のヨボ化してるには愕きました（大阪の小僧）

男まさりの巴御前

二十人力の大の男を組み伏す 尼となつて義仲の後世を弔ふ

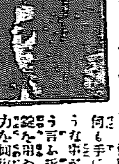
中村歌右衛門談

（ミツワ文庫五・四）

巴御前は中原權頭兼遠の娘で旭將軍義仲の股肱の臣として勇名天下に轟いた樋口兼光、今井兼平の妹でございます。天性力強く弓矢の道太刀打つ術にも優つた上に花も恥らふやうな美人だつたさうで義仲も大層寵愛致しまして後には妾となし旗揚の初めから左右を離さず召連れ北國の戰では一隊の將に仕立てましたが屢武功を現し義仲初め數多の勇士の舌を捲かせたと言ふ事でございます義仲が叡山と戰を爲るやうに成りましてから武運次第に傾きかけ遂には東兵に打捲られて將士或は討たれ或は走り從ふものは僅に十三人と成りましたが譜代の恩顧に酬ひ君が先途見屆けんと殿にもなく追ひ來る敵に當り死力を盡して防ぎながら四宮河原まで退きました時は主從僅か八人となり巴は先に進んで戰つて居りましたが敵の一人に内田家吉と申して力は二十人を兼ねた勇名關東に響いた勇士がありましたが進んで巴と渡り合ひ入交もせず暫し火花を散らして切り結び合しては放れて勝負がつかないので巴は氣を焦つて馬を乗寄せ摺寄せ諸共双手を擧げて敵に組付きやゝ暫し揉み合つた後さしもの大剛の家吉を組伏せて遂に其首級を搔き落したには敵も味方も驚いたさうでございます。此の事巴は義仲に追ひ附いて今討取つた家吉の首を示しますと義仲は涙を浮べて可惜勇士も女の手に討たれて無殘の最後を爲すも武運の盡くるところ明日は我が身の上に爲り來て詰り手に死なんも知れず義仲ほどの大將が女の愛に引されて討死の最後まで具したと譏られんも口惜しい何處なりとも志す方へ落ち行けと命ぜられて巴は潜然と涙を流して何處までもと膝に縋附いたが義仲は聲を勵まして怒つけるので巴は泣く泣く別を告げ駒の首を回らせて何處ともなく立去りました巴は敵陣を切り拔けて落延び一度故郷の木曾に歸りましたが義仲が敗れて最後の報を傳へ聞いて大なす黒髪を剃り落して尼となり、越後の友松と云ふ所にさゝやかな庵を結んで夕な夕なに義仲の冥福を祈つて道心堅固に世を卒へたと云ふ事でございます、一說には巴は粟津の戰に敗れて生捕られ鎌倉へ引かれて既に斬られんとする時和田義盛の哀願に依つて許され義盛の妻と成つて朝夷三郎を生んだと言傳へて居りますが、朝夷が巴の子としまするど年代に非常に相違がありまして、朝夷は義仲の敗死しました安元二年には既に十歳となつて居りますので、此の說は後人が良い加減に附會した俗說かと存じます。巴は木曾の山奥に生れましたが、山紫水明の境に生立ちました故か加茂川の水に育つた京女より美しかつたさうで、美容も粧ふ玉の肌に薄化粧も匂やかに緑の髪は後に振りみだし、きりゝと締めし武者鉢卷、緋縅の鎧着け、葦毛の駒に跨つて長柄の長刀振りかざした姿は眼も覺めるばかり美しかつた事と想像されます古來秀麗の地には美人を生ずるとか申しまして人里離れた山僻地の間に美人を見受けるやうな事がございますが當節では化學上の智識が進んで參りましたので美人となるに土地が如何だとか水が良いとか悪いとかは最早問題とならなくなりまして洗粉の如何と云ふ事に大變注意を拂ふやうになりましたが當今一般に用ひられて居りますのは有名な丸見屋商店發賣のミツワ石鹸で美容衛生の洗粉としては此石鹸に限るとの大層評判が高うございます此ミツワ石鹸は丸見屋商店試驗部で皮脂の分泌量の多い日本人の肌に適ふやうに精製した純良無比の石鹸でありまして專門家の話に依りますと遊離苛性加里、遊離脂肪を含んでゐない石鹸を化學上の純石鹸と申しますさうで苟くも石鹸と名の付く以上は洗濯石鹸でも工業用の石鹸でも必ず化學上の純石鹸であるべき筈ださうですが石鹸の重な原料であります脂肪の中でも刺戟の強いものもありますれば又藥品を多量と用はなければ鹸化せぬものもあるさうで一方又毫しも刺戟がなく少量の藥品でよく鹸化する優良な脂肪もありまして之は勿論價格も高いのですが斯う言ふ脂肪を使つた石鹸を理想石鹸と申しますさうですミツワ石鹸は化學上の純石鹸でありますのみでなく優良な原料を用つた理想石鹸で泡の立具合と言ひ垢の落加減と言ひ之位心地のよい石鹸はありません其上水にもよく溶解しますが半途で溶け崩るゝやうな事もなく而も温雅の芳香を保つて居りますので衛生と美容の特色を兼備へた最上な石鹸でございます

▲中村吉右衛門曰く 丸見屋商店發賣の肝油ドロップスは肝油に免れ難い一種の臭氣が無いのみでなく、西洋菓子のやうに甘い味がありまして、一粒中に純良な肝油一瓦宛を確に含んで居りますから、大人は無論の事、御婦人子供衆も好んで召上られるのでございます。それに分量を計る手數も要らず、長く貯へても變質せず、而も消化がよくて奏効が確實でありますから、非常に賞美されて居ります。

▲兒太郎改め中村福助曰く （以下略）



▲中村東藏曰く 椿油の香氣も有らず……ミツワ椿油は……完全な精製法で……御髪をなし……（以下略）

指環及時計
仁川本町
糸岐商店
電話三〇七番・振替京城七一

仁川港富澤商店
東京雜貨 酒類 食器部
電話二三六番 振替京城二四六番

印入 大勉強

金泉間自動車時間
金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部
電話一一七番

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
三河丸 五月廿三日 正午出帆
日本郵船仁川出張所 仁川港岸町一丁目 堀 因 遭部

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
安東丸 四月廿七日 午後五時
須磨丸 五月一日
天草丸 五月三日 午後出帆
木浦、釜山、嚴原郷の浦長崎行
信濃川丸 五月十一日 後二時出
信濃川丸 五月廿九日 後二時出
鎮南浦大連行
福州丸 四月廿八日 後二時出
信濃川丸 五月六日 後二時出
大連直行
福州丸 四月廿八日 正午出帆
潮州丸 五月九日
群山、釜山、福州港行
潮州丸 五月十六日 午後二時
福州丸 五月廿二日 出帆
御注意 大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所 大阪商船運送店 電話七〇八

朝鮮郵船
全羅丸 五月一日
京畿丸 五月十二日
海州丸 五月十六日
成鏡丸 五月十六日
城平丸
平壤丸
釜山代理店 松原運送店

汽船釜山出帆廣告
尼崎汽船釜山出帆

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社

淸津丸

商況
大阪三品
下關期米特電